

## [2023/2024]九州大学附属図書館年報

<https://hdl.handle.net/2324/7183080>

---

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2023/2024, pp.1-, 2024-06. Kyushu University Library  
バージョン：  
権利関係：



# KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2023/2024

九州大学附属図書館年報 2023/2024



# CONTENTS もくじ

Topics .....	3
展示会・講演会 .....	7
国際化 .....	9
講習会/Cute.Guides .....	10
新規コレクション・デジタルアーカイブ・ 九州大学学術情報リポジトリ(QIR) .....	11
研究開発室 .....	13
人材育成 .....	14
統計 .....	15
附属図書館の組織 .....	21
人事異動 .....	23
貴重資料の学外展示・掲載・放映 .....	24
図書館日誌 .....	25

BANKERS  
AND  
CREDIT

HARTLEY  
WITHERS

1816  
WINDHAM  
CHURCHILL

LES PLANTES

AN COUL



附属図書館長

谷口 倫一郎

## はじめに

令和5年4月の新学期から、感染拡大防止に十分注意するものの「マスク着用は個人の判断に委ねることを基本とする」という新しいマスク着用の考え方でキャンパスの活動が始まり、令和5年度は大きなトラブルも発生せず、ようやくパンデミックの終息期にきているという感じがしています。これに併せるように附属図書館にもパンデミック前の活気が戻って参りました。コロナ禍の3年間は、利用時間や利用座席数の制限をはじめ各種の感染拡大防止措置を施す一方、図書館サービスの水準維持のため、電子ジャーナルの特別提供、電子ブックの整備、貴重資料等の電子化と即時公開、各種学習・教育支援のオンライン化等、一連の非来館サービスを拡充して参りました。このコロナ禍の期間、図書館関係者にとってはなかなか厳しい時期でもありましたが、新しい技術と出会い、新しい図書館の在り方を考えるまたとない機会となったというポジティブな面もございました。今後は、コロナ禍により加速したデジタル化をさらに推し進め、実空間とデジタル空間のそれぞれの特徴が補完し合う新しい魅力ある図書館の在り方を利用者の皆様と共に追求して参ります。

令和5年度の出来事としては、まず、eリソース課リポジトリ係が、「中村哲先生の志を次世代に継承する九大プロジェクト」の取り組みにより、国立大学図書館協会賞を受賞したことを挙げたいと思います。本学の同賞受賞は6回目になります。今回の受賞では、社会・地域と連携して取り組み、研究・教育・交流を支援する、大学図書館の強みを活かした活動が評価されました。偉大な先輩である中村哲先生の遺志を次の世代にどう継いでいくのか、引き続き様々な取り組みを進めて参ります。

6月には改修中であった芸術工学図書館がグランドオープンいたしました。今回の改修では、「クリエイティブ・アクセス」というコンセプトのもと、大橋キャンパスの様々な学びや活動を育む場として再構築することを目指し、隣接する情報基盤室の建物と図書館を架橋し、アクティブラーニングコリドーという展示スペースと学習スペースが一体となった新たな空間が生まれました。また、暗室にできる仕様と防音機能を備えた映像音響ラウンジを新設し、館内で本格的な映像展示を行うことが可能となるなど、クリエイティブな活動を支援する環境が整いました。10月には、医学図書館がリニューアルオープン1周年を迎え、記念行事等を実施いたしました。

研究教育の展開にとって最重要のインフラともいえる電子ジャーナルを巡っては、購読料が高騰する一方、OA（オープンアクセス）への転換が世界的潮流となっております。九州大学でも、令和6年よりWiley、RSC、Elsevierの3社と、電子ジャーナルの購読と論文のオープンアクセス出版を包括的に取り扱うOA出版モデル契約（転換契約）を締結し、まず令和6年1月からWiley、RSCでの運用を開始いたしました。また、九州大学学術情報リポジトリ（QIR）の運用を通して、自らオープンアクセスの実現にも取り組んでいます。

最後に、令和3年度より進めております九州大学基金の使途特定プロジェクト「九州大学デジタル資料整備事業」に加えて、令和5年度から新たに「医学図書館整備事業」を開始いたしました。皆様の御協力をお願い申し上げます。

# Topics

## 芸術工学図書館グランドオープン

令和4年6月から改修工事を実施していた芸術工学図書館は、令和5年6月29日にグランドオープンの日を迎えました。当日は1F閲覧ホールにて尾本芸術工学研究院長、谷口附属図書館長、伊原芸術工学図書館長、藤デザイン基盤センター情報基盤室長、芸術工学部3年生の末田尚人さんの5名によるテープカットが行われ、その後グランドオープン式典を開催しました。

今回の改修では、「クリエイティブ・アクセス」というコンセプトのもと、大橋キャンパスの様々な学びや活動を育む場として再構築することを目指し、隣接する情報基盤室の建物と図書館を架橋し、アクティブラーニンググリッドという展示スペースと学習スペースが一体となった新たな空

間が生まれました。また玄関の位置を正門側に移設したことで、キャンパス内での視認性と利便性を改善し、ロビーは吹き抜けを活かした閲覧ホールに生まれ変わりました。そして暗室にできる仕様と防音機能を備えた映像音響ラウンジを新設し、館内で本格的な映像展示を行うことが可能となりました。

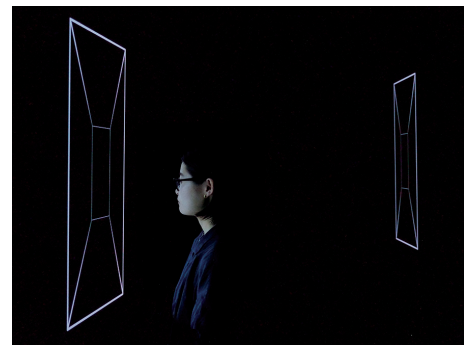
グランドオープンを記念して、メディアデザイン部門の牧野准教授を始めとする芸術工学研究院・芸術工学部の4名のアーティストが新設の映像音響ラウンジの機能を体感できる展示をシリーズで開催し、芸術工学図書館の新たな魅力を発信しました。



オープニングセレモニー



正門側に移設された正面玄関



映像音響ラウンジ展示

## 中村哲先生九大プロジェクトの取り組みが国立大学図書館協会賞を受賞

令和5年6月、九州大学附属図書館eリソース課リポジトリ係が、「中村哲先生の志を次世代に継承する九大プロジェクト」の取り組みにより、国立大学図書館協会賞を受賞しました。本学の同賞受賞は6回目です。

令和2年度に発足した同プロジェクトにおいて、附属図書館は事務局を担当し、中心的な役割を果たしてきました。「中村哲著述アーカイブ」の構築、展示スペース「中村哲医師メモリアルアーカイブ」の運営、授業「中村哲記念講座」（基幹教育総合科目）の支援など活動は多岐にわたります。

特に「中村哲著述アーカイブ」（令和3年3月公開）は、中村哲医師の著述や活動記録という独自性が高くインパクトのある資料を収集し、インターネット上で公開しています。今回の受賞では、社会・地域と連携して取り組み、研究・教育・交流を支援する、大学図書館の強みを活かした活動が評価されました。

また、中央図書館では、中村哲医師の現地活動を紹介する写真パネ

ル展（7～9月）とドキュメンタリー映像上映会（8・11月）を開催しました。中村哲医師の仕事とその記録を、地域社会や未来の世代と共有できるよう、受賞を力に変え、取り組みを続けてまいります。

- 「写真で見る中村哲医師の現地活動一人と人、人と自然の和解を探る」
- 【日 程】令和5年7月14日（金）～9月30日（土）
- 【会 場】九州大学中央図書館3Fエントランス / 4F Sky Cute.Commons
- 【主 催】九州大学附属図書館、中村哲先生の志を次世代に継承する九大プロジェクト
- 【協 力】ペシャワール会、哲縁会



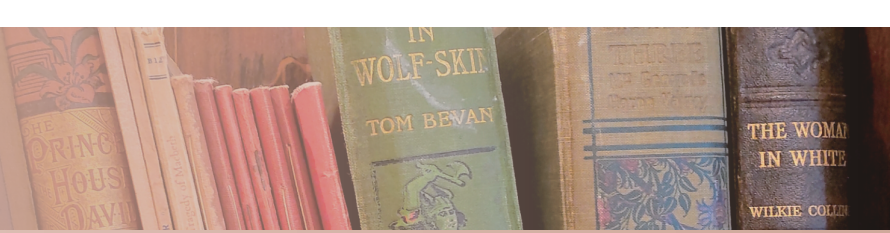
授賞式の様子



KBC提供映像『国境を越えて』等を上映



写真展の様子



## 医学図書館リニューアルオープン1周年

令和5年10月、医学図書館はリニューアルオープン1周年を迎え、記念行事等を実施しました。

### ● アンケート&座談会「医学図書館の使い心地、いかがですか？」

館内にアンケートBOXを設置し、利用者から医学図書館について意見を募りました。令和5年10月27日、アンケートで寄せられた意見を基に座談会を実施しました。学生7名、図書館職員3名が参加し「医学図書館の好きなところ」、「改善してほしいところ」について意見交換しました。

### ● ミニコンサート

令和5年10月13日、学生サークル「馬出吹奏楽部」に協力を依頼し、医学図書館前の広場でミニコンサートを開催しました。学生、教職員、病院スタッフなど約60名が参加し、多様な人が集う機会となりました。

### ● 医学図書館整備事業

令和5年10月1日より九州大学基金の使途特定プロジェクトとして「医学図書館

整備事業」を開始しました。病院キャンパスの歴史と伝統をつなぎ、未来の医療人材の育成に貢献することを目的としています。また、医学図書館が支援者と共に未来の医療を創造する「共創」の場としての機能を発揮することを目指しています。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/kikin/med>



座談会の様子



ミニコンサートの様子



医学図書館整備事業ポスター

## 4年ぶりに対面でのオープンキャンパス開催

対面での実施が令和元年度以来4年ぶりとなったオープンキャンパスでは、各館も館内を開放し、展示等のイベントを実施しました。

### 1. 実施概要

中央図書館 8/5(土)~8/6(日)	・館内開放 ・オープンキャンパス企画展「九大中央図書館のお宝たち」 ・写真展「写真で見る 中村哲医師の 現地活動一人と人、人と自然の和解を探る」※
理系図書館 8/5(土)~8/6(日)	・館内開放 ・自動書庫見学(8/6のみ)
医学図書館 8/7(月)	・館内開放 ・常設展「知をつむぐ 一東西の古医書」※
芸術工学図書館 8/6(日)	・館内開放 ・グランドオープン記念展(第3弾)「イム・ドンファン ポスター作品展[書物と空間]」※ ・高校生向け学生生活等に係る相談窓口(図書館独自ではなく芸術工学部全体としての企画)
筑紫図書館 5/27(土)	・館内開放 ・常設展「九大筑紫キャンパスの歴史散歩」※ ・謎解きイベント「沈黙する古代遺跡の謎を解け! Season1」

※アスタリスク付はオープンキャンパス期間外も開催した企画。

### 2. オープンキャンパス期間の来館者数

- ・計 15,855名
- ・うちオープンキャンパス来場者による来館13,246名(中央6,984名、理系3,039名 医学1,105名、芸工1,588名、筑紫530名)

## ILLサービスの向上

令和2年以降、全学的な研究環境の向上に資するよう、本学に所蔵がない資料の取寄せに対して、費用の補助を行っています。

令和5年度には、さらなるサービスの向上を目指しました。

### ● キャッシュレス決済の開始(令和5年10月~)

これまで私費での支払方法は現金のみだったため、職員のいる平日9~17時でしか図書を受け取ることができませんでした。オンラインでのクレジットカード払いが可能になったことで、開館時間中いつでも受取可能になった上、現金授受の際に発生していた領収書作成作業が無くなり、

利用者の待ち時間も大幅に縮減しました。

### ● RapidILLの導入(令和5年11月~)

RapidILLは主に欧米各国の大学図書館600館が参加する相互貸借システム(ILL)で、外国語文献の複写依頼に使用しています。

利用者には、文献が24時間以内にPDFで届くだけでなく、これまで入手が困難だった外国語文献も比較的容易に入手できるようになり、ILLサービスの質と利便性が格段に向上しました。

## 電子ジャーナル契約にOA出版モデル(転換契約)を導入

本学では、令和6年よりWiley、RSC、Elsevierの3社と、電子ジャーナルの購読と論文のオープンアクセス(以下、「OA」)出版を包括的に取り扱うOA出版モデル契約(転換契約)を締結し、まず令和6年1月からWiley、RSCの運用を開始しました。

転換契約の導入に際し、電子ジャーナル等検討専門委員会の下に、研究戦略企画室の室員も参加するOA出版モデル検討専門部会を新たに設置し、研究力向上や持続可能性など様々な観点から運用方法を検討しました。その結果、本学の研究者は、上記の出版社の対象ジャーナルにおいて、論文掲載料(APC)定価の3割の経費負担で論文をOA出版す

ることが可能になりました。

転換契約の導入により、本学の多くの研究成果をOAとして広く社会に発信でき、大学の社会貢献が一層進むとともに、資金に制約のある若手研究者もOA出版の機会を得られ、大学全体で電子ジャーナル購読とOA出版に関する総費用を抑制できるなど、様々なメリットがあります。

なお、運用開始にあたり令和5年12月と令和6年2月に計5回のオンライン説明会を開催しました。説明会には延べ約300名近くが参加し、論文投稿予定の研究者からの質問が相次ぐなど、転換契約に対する関心の高さがうかがえました。

## 研究データ管理支援の取り組み

図書館DX支援室では、データ駆動イノベーション推進本部の研究データ管理支援部門(RDS部門)と連携して、研究データの管理・公開に係る支援に取り組んでいます。設置2年目となる令和5年度は、研究デー

タ管理支援のウェブサイトを開設し、主に以下の活動を行いました。

<https://rds.dx.kyushu-u.ac.jp/>



### ●国際シンポジウム「大学における研究データ管理の意義と支援人材育成」開催

6月19日、研究データ管理の支援人材育成の一環として、RDS部門主催、附属図書館共催による上記シンポジウムを開催しました。イリノイ大学情報学部(iSchool)の研究者による講演や本学の活動紹介ののちパネルディスカッションが行われ、研究データ管理の意義や支援のあり方について活発な議論がなされました。



資料及び動画を公開しています。



### ●研究データ管理に関するリテラシー教材の作成・公開

8月、教材「はじめよう、研究データ管理」を公開しました。本教材は、大学院生や若手研究者等を対象とした、研究データ管理の基礎知識を得るためのもので、自由にカスタマイズして活用することができ、他大学の研究者にSNSで取り上げられるなど大変好評を得ています。



また、令和4年度に公開した動画教材「はじめての研究データ管理:研究室の日常から」の英語版も作成し、公開しました。

日本語版



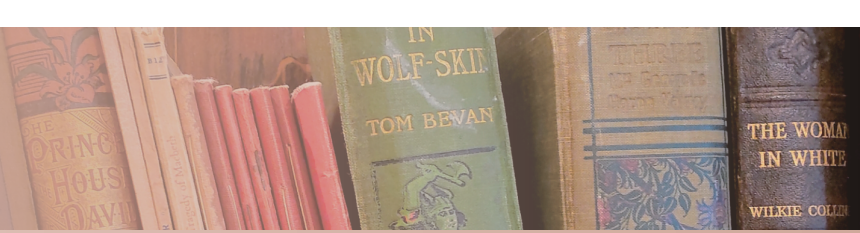
英語版



### ●研究データ管理用ストレージシステム(QRDM)の提供開始

12月、研究データの保存や共有に使用できるオンプレミス型のストレージシステムの提供を開始しました。本学教員は、SSO-KIDでログインして直ぐに利用が始められ、研究室等でのファイル共有のほか、国立情報学研究所のGakuNin RDMの拡張ストレージとして学内外の共同研究プロジェクト等で利用することが可能です。

以上に加え、科研費でのデータ管理計画(DMP)作成義務化に備え、DMP作成のためのWeb相談窓口を設置したほか、各部局が作成した研究データ管理・公開の実施要領を学内限定で公開しました。また、研究データの公開に関する依頼や相談にも随時対応しています。



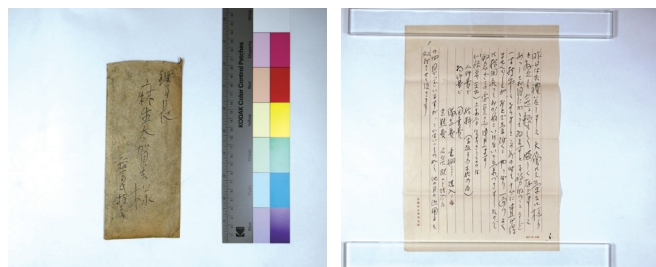
## 付設記録資料館の活動

記録資料館麻生家文書研究部門では、『石炭研究資料叢書』第45輯を令和5年10月に、第46輯を令和6年3月に刊行し、「麻生家文書」の目録を公開しました。後者は新規公開分です。

ここでは、後者に所収された、昭和17年9月1日付麻生太賀吉宛大塚英雄書簡(「麻生家文書」212-71)を紹介し、大塚は財団法人斯道文庫の主事、麻生は理事長を務めていました。戦前の斯道文庫については、『九州大学附属図書館研究開発室年報』2021/2022に寄稿した、原口大輔「翻刻 「財団法人斯道文庫図書管理方針大綱」」もあわせてご覧ください。

さて、この書簡のなかで大塚は赤字になりそうな経費と、文庫の運用を相談しています。人件費と物件費は他費目の流用で充当する予定で、さらに松崎謙堂、安井息軒について研究できる研究員を雇いたいと願います。一方、文庫の家賃支出は次年度以降、株の配当金だけでは賄えなくなり、元金に食い込みかねないと訴え、理事長の指示を仰ぎます。加えて、蒐集した文献が増加した結果、文庫内が手狭となり、研究するにも十分なスペースがなく、蔵書が十分に活用できないと大塚は嘆き、自宅

をそのスペースに宛てようかとまで悩んでいることを告げます。そして、その他諸々事務について書き連ねた末尾に大塚は「私校正を山のやうに控へてみますので」と認めます。研究にかかる予算と場所の不足、そして校正に追われる姿は——戦時中という時期とはいえ——いつの時代も共通なのではないでしょうか。



昭和17年9月1日付麻生太賀吉宛大塚英雄書簡

## 付設教材開発センターの活動

教材開発センターは、ICTを活用した質の高い電子教材を提供し、教育の質の向上を図ることを目的に様々な事業に取り組んでいます。

### 1. 部局との連携及び学生協働によるICT活用電子副教材の開発と開発支援

各部局との連携及び学生協働により、日本史学教材、放射線治療ソフトウェアトレーニング教材、歯科治療トレーニング教材、留学生向け日本語学習教材等、3次元CGやウェブ技術を活用した対話型電子教材の開発を継続して実施しています。

### 2. 映像教材等の撮影・編集・公開

本学の授業、講演会、講習会等を撮影・編集し、本学Webページをはじめ、YouTube、Podcast、OCWにて令和6年3月末現在1,500件以上の動画等を学内外に広く公開しています。また、平成26年度から継続して制作・開講しているJMOOC講座については、「気候変動と大気汚染の入門」(講師:竹村俊彦主幹教授、令和3年1月13日~2月10日開講)をミャンマーMOOC関連団体であるビルマアカデミーからミャンマー語で開講される予定です。さらに令和5年度は、「講義等ビデオ教材作成者向け講習会」をオンライン開催(19名参加)しました。平成28年度から取り組んでいる「代表的研究者紹介ビデオ」(第一期:先生の森【動画版】、第二期:九大百家)制作公開は令和4年度末で終了しました。

### 3. 電子教材の著作権に関する取り組み

例年、電子教材を制作する際の著作権の取り扱い等を解説する「電子教材著作権講習会」を全学FDとして実施していますが、令和5年度も令和4年度と同様にオンライン開催(22名参加)しました。令和3年度から本格運用開始となりました「授業目的公衆送信補償金」制度の内容についても解説しました。本制度に関する相談対応もしています。



「講義等ビデオ教材作成者向け講習会」のページ



「電子教材著作権講習会」のページ

### 【付設教材開発センターの廃止について】

教材開発センターは、支援業務のメインであった講義等の撮影・編集・公開は、同センターの支援に加え、コロナ禍を契機としたオンライン授業のための各種ツールの普及により、全学的な支援を必要としない状況となったことから、支援業務の役割は終了したとして、同センターを発展的解消し、「最新のICT技術を活用した高度な教材開発」の業務をメインとするデータ駆動イノベーション推進本部次世代型オープンエデュケーション推進部門(NoE推進部門)の活動へ本格的にシフトすることが、令和6年3月7日開催の企画委員会において決定しました。

以上のことから、教材開発センターは、令和6年3月31日をもって廃止いたします。

長きにわたり、同センターをご利用いただきまして誠にありがとうございました。

# 展示会・講演会 Exhibitions & Seminars

## 第60回貴重文物展示「資料からみる糸島の歴史」

【日 程】令和5年11月1日(水)～11月30日(木)  
 【会 場】九州大学中央図書館3Fエントランス  
 【主 催】九州大学附属図書館

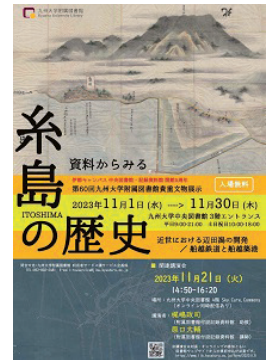
九州大学附属図書館では、所蔵する貴重資料を広く公開するため、毎年、貴重文物展示を開催しています。今回は、伊都キャンパスに中央図書館と記録資料館が全面開館して5周年を記念するイベントとなりました。

展示会は、本学伊都キャンパスが立地する糸島の歴史をテーマに、三苦家文書、三奈木黒田家文書、麻生家文書など主に記録資料館が持つ歴史資料を公開しました。

あわせて、11月21日には、展示の監修者である記録資料館の梶嶋政司助教および原口大輔講師による講演会も実施しました。来場された地元の方々から、講演者に対して複数の質問が寄せられ、盛会となりました。来場者アンケートでも「郷土の人間としてうれしいです」といったコメントや「地域の人はもちろん糸島以外の人にも、講演会等を通して史料を有効に活用できることを実感しました」といった感想がありました。講

演会の模様はオンラインでの同時配信も行いました。

なお、当貴重文物展示は「九州大学デジタル資料整備事業」の寄附金によりご支援いただきました。



## 特別展示「『学徒出陣』から80年目を迎えて」

【日 程】令和5年12月2日(土)～12月24日(日)  
 【会 場】九州大学中央図書館3Fエントランス  
 【主 催】九州大学附属図書館  
 【共 催】九州大学大学文書館・九州大学文学部同窓会

九州大学大学文書館および文学部同窓会との共催で、特別展示「『学徒出陣』から80年目を迎えて」を開催しました。中央図書館を会場に、本学における80年前の学徒出陣の状況を示す写真パネルや出陣学徒の手記など、100点を超える資料を展示しました。学業半ばで出征した往時の学徒たちの様子に真剣に見入る学生や教職員、OBの姿が見られ、大学で学ぶことの意義や、戦争と平和について考える機会となりました。

多方面からの要望を受け、当初、約2週間としていた会期を、1週間ほ

ど延長しました。また、新聞やテレビといった複数のメディアで取り上げられるなど、学内にとどまらず、学外からも大きな反響があり、多数の一般市民も観覧に訪れていました。



## 芸術工学図書館「サイエンス・プランター」

芸術工学図書館では、芸術工学部のユニークな研究・活動を紹介するサイエンスカフェ形式のセミナー「サイエンス・プランター」を開催しています。改修後の開放感溢れる閲覧ホールで久々の開催となりました。

【会 場】芸術工学図書館1F閲覧ホール  
 【開催回数】4回 【総参加者】96名

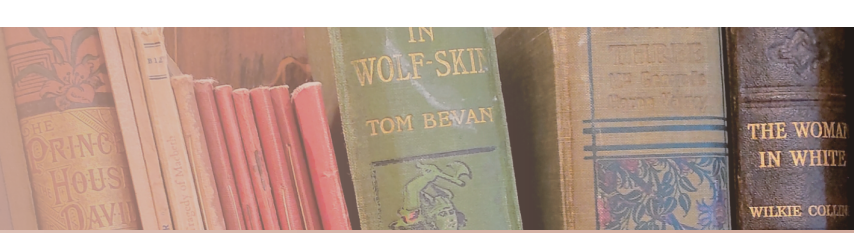
### 〈各回紹介〉

- 【第1回】7/31「映像音響ラウンジ展示ギャラリートーク」牧野豊准教授(メディアデザイン部門)、宮下恵太テクニカルスタッフ(メディアデザイン部門)、城一裕准教授(音響設計部門、司会)
- 【第2回】10/23「芸術工学図書館改修デザインの舞台裏～図書館を違う視点で楽しむために～」岩元真明助教(環境設計部門)、秋田直繁准教授(人間生活デザイン部門)、城一裕准教授(音響設計部門)、工藤真生助教(メディアデザイン部門)、池田美奈子准教授(未来共生デザイン部門、司会)

【第3回】11/2「反復／差異／境界」古賀徹教授(未来共生デザイン部門)、栗山斉准教授(未来共生デザイン部門)、伊原久裕教授(メディアデザイン部門、司会)

【第4回】12/22「紙メディア時代の情報デザイン～世界はすべて紙でできている～」伊原久裕教授(メディアデザイン部門)





## 医学図書館展示

### ■ 知をつむぐ—東西の古医書—

【期 間】令和5年8月1日(火)～10月31日(火)  
【会 場】九州大学医学図書館1F展示室  
【電子展示】<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/exhibition/medrare2023>

附属図書館では、本学の代表的な貴重書および資料群をより広く知っていただくことを目的として、冊子『知をつむぐ—九州大学の書物たち—』を発行しています。今回の展示では、この『知をつむぐ』に掲載した東西の古医書を中心に、当館所蔵コレクションから約20点を展示しました。

### ■ 教室旧蔵コレクション展—和漢書編—

【期 間】令和5年12月5日(火)～令和6年3月25日(月)  
【会 場】九州大学医学図書館1F展示室  
【電子展示】<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/exhibition/medcollection>

医学図書館で所蔵している貴重古医書コレクションは、医学部諸教室で収集されていた蔵書を基礎としています。眼科、衛生学、法医学、耳鼻咽喉科、第三内科、泌尿器科の各教室旧蔵本と九州大学病院の前身である県立福岡病院旧蔵本の中から、特に「和漢書」に注目して特徴的なものを約20点展示しました。教室の沿革と併せて、資料収集に関係していた教授についても紹介しました。

## 中央・理系図書館での展示

中央図書館及び理系図書館では、エントランスを展示スペースとして活用しています。

令和5年度は、科研成果巡回展示「帝国日本と森林—近代東アジアにおける環境保護と資源開発—」を実施したほか、令和4年度に引き続き、学生サークル・団体による作品展示を行うなど、活動成果発表の場を提供しています。

また、職員選書によるテーマ展示に合わせたおすすめ本の展示をしました。

### ● 図書館の共催で実施した展示

令和5年5月～6月 巡回展「帝国日本と森林—近代東アジアにおける環境保護と資源開発—」  
令和6年3月～4月 法文学部百周年先導企画展示「九州大学法文学部の百年—混沌と創造」

### ● 学生団体による作品展示・図書館の魅力発信

令和5年4月 模型部(中央)  
令和6年1月～2月 折り紙同好会ORUTO(中央・理系)  
令和6年2月～3月 medien-lien(メディアンリアン)(中央)

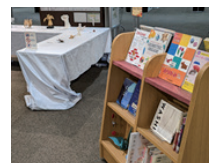
### ● 職員によるおすすめ本展示

令和5年5月 科研成果巡回展示(中央)

令和5年7月～9月 中村哲医師の現地活動写真展(中央)  
令和5年9月 ハロウィン(中央・理系)  
令和5年11月 貴重文物展示(中央)  
令和5年12月 学徒出陣展示(中央)  
令和5年12月 クリスマス(中央)  
令和6年1月 折り紙展示(中央・理系)  
令和6年2月 科学道100冊(理系)



模型部の作品展示  
(中央)



折り紙部(ORUTO)の  
作品展示(中央)



medien-lien  
(メディアンリアン)(中央)



ハロウィン展示(理系)



科学道100冊(理系)

## 図書館TA(Cuter)企画イベント

図書館に自律的な学びの雰囲気を生み出すため、大学院生の図書館TA(Cuter)が自身の専門知識や経験を活かしたイベントを、図書館職員と協働して企画・実施しています。

### 〈主なイベント〉

#### ● Cuter Café

図書館TA(Cuter)が特定テーマについて取り上げるシリーズ企画です。令和5年度は、「Microsoft Word スキルアップ講座」「Microsoft Excel 入門講座」「初級者向けPython講座」「はじめてのR講座」「DC1/DC2 申請書個別相談会」「社会的ジレンマと行動科学」「名著への扉を開く会」「文系大学院ってどんなところ?」など、多様なテーマで計9回開催しました。

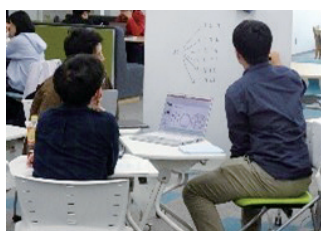
#### ● Quricon

学部・学府・学年の垣根を越えて研究交流を図る学際交流イベントです。令和5年度は、「Quricon×コンパ=キュリコンパ!～隣のリアルを知る～」をテーマに、学部から博士課程まで、学年と分野が異なる学生が、自らの専攻を選んだ理由や学

問・研究へのモチベーションなどについて話題を提供するプレゼンテーションおよびパネルディスカッションを理系図書館で開催しました。

#### ● ブックレビューコレクション

図書館利用者による九大蔵書の紹介文(ブックレビュー)を募集し、中央図書館内にブックレビューと図書を展示する企画です。ブックレビューは、Cute.Guides上でも紹介しています。



Quricon



ブックレビューコレクション中央図書館POP

# 国際化 Internationalization

## イリノイ大学、プーケット・ラチャパット大学来訪

令和5年度は、海外からの来訪が相次ぎました。

9月4日には、本学と大学間学術交流協定を結ぶイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校の訪問団が本学を訪れ、Claire Stewart図書館長らが中央図書館を視察しました。図書館職員による附属図書館概要紹介・見学に加えて、富浦洋一教授によるデータ駆動イノベーション推進本部研究データ管理支援部門の紹介、石田栄美教授による大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻における研究データ管理(RDM)支援人材育成プログラムの説明が行われました。

11月13日には、タイのプーケット・ラチャパット大学(PKRU)から、Somboon Suksamran PKRU 評議会議長をはじめとする大学代表団21名が来訪し、中央図書館を視察しました。これは、特色ある図書館と図書館情報学の教育課程を有する本学の活動を学ぶことを目的として、企画されたものです。

はじめに、4F Sky Cute.Commonsにて、竹熊尚夫副館長による挨拶と、石田栄美教授による大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻及び研究データ管理(RDM)支援人材育成プログラムの説明が行われました。続いて、図書館職員が附属図書館の概要を紹介しました。

館内見学では、4グループに分かれ、図書館職員が英語による解説を行いました。見学者たちは熱心に解説を聞きながら、多様なニーズに応じる中央図書館の施設・設備を写真に収めていました。和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、双方にとって有意義な交流の時間となりました。



タイのプーケット・ラチャパット大学(PKRU) 大学代表団訪問の様子

## 海外往来

—往訪—

【訪問者】金子美弥(eリソース課eリソース管理係員)  
 【日程】令和5年4月16日~4月19日  
 【訪問先】セントルイス(アメリカ)  
 【目的】国際図書館コンソーシアム連合(ICOLC)春季会合への参加  
 (大学図書館コンソーシアム連合からの派遣)

【訪問者】金子美弥(eリソース課eリソース管理係員)  
 【日程】令和5年10月25日~10月28日  
 【訪問先】プラハ(チェコ)  
 【目的】国際図書館コンソーシアム連合(ICOLC)秋季会合への参加  
 (大学図書館コンソーシアム連合からの派遣)

【訪問者】清水敏之(研究開発室准教授)  
 【日程】令和5年12月4日~12月7日  
 【訪問先】台北(台湾)  
 【目的】ICADL2023への参加

【訪問者】金子美弥(eリソース課eリソース管理係員)  
 【日程】令和6年3月4日~3月7日  
 【訪問先】シンガポール  
 【目的】EBSCO社アドバイザリーボード会議への参加  
 EBSCO社EBSCO Open Dayへの参加

—来訪—

【訪問者】Heidi Imker部門長、Hoa Luong氏、Sandi Caldron氏  
 (イリノイ大学図書館リサーチデータサービス部門)  
 【日程】令和5年10月14日~10月16日  
 【目的】ライブラリーサイエンス専攻の研究データ管理(RDM)支援人材育成プログラムにて来学中の10月16日に図書館DX支援室との意見交換会を開催

## ◆講習会

学習・研究を行う上で必要な文献を効率よく探し活用できるよう、学生・教職員を対象に様々な講習会を開催しています。図書館側であらかじめ内容や日時を設定し広く参加を呼びかける「図書館企画」の講習会、教員等からの要望に応じて内容や日時を全てカスタマイズして行う「オンデマンド」の講習会を並行して実施しています。令和5年度はコロナ5類移行に対応しつつ、「図書館企画」の講習会を主にオンラインで開催し、「オンデマンド」の講習会は、対面授業の増加に伴い、主に対面で開催しました。

### 〈注目の講習会等〉

#### ● レポートの書き方講座／実験レポート講座／プレゼン講座

基幹教育(初年次教育)を支援するため、図書館TA(Cuter)と協力して開催する講習会です。受講者にとって一層満足度の高い講座にするために、図書館TA(Cuter)と図書館職員が議論を重ね、内容をブラッシュアップしています。令和5年度は、レポート・実験レポート講座はオンライン、プレゼン講座は主に対面で実施しました。また、eラーニング教材も令和2年度より継続して別途提供しました。

#### ● 文献の探し方講習会

日本語・英語文献を探す検索ツールの活用法に関する講習会です。中央・理系・医学図書館が連携し、受講者の専門分野に応じた講習を提供しています。留学生を対象に英語での講習も行っています。令和5年度は、主にオンラインで実施するとともに、過去の録画映像を活用した講習会を初めて開催しました。また、講習会の動画や配布資料を学内限定で公開しました。

#### ● 新入留学生向け図書館ツアー

九州大学へ入学する留学生を対象に、図書館TA(Cuter)が中央図書館を案内するツアーを、国際部と連携して実施しています。令和5年度は、4月に216名、9月に227名の参加がありました。

## ◆Cute.Guides(きゅうとガイド)

Cute.Guidesは附属図書館がWeb上で提供する調べ方ガイド・学習ガイドです。平成25年3月の正式公開以来、図書館職員や図書館TA(Cuter)が様々なコンテンツを作成し、テーマごとの解説とともに参考図書等の役立つ情報源を紹介しています。

### 図書館ウェブサイト>Cute.Guides

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp>

ガイド総数 231点(令和6年3月31日現在)

アクセス数 1,585,957ページビュー(令和5年度)



### 〈令和5年度に公開した主なガイド〉

#### ● 素粒子理論に至る道

数学的な難しさと大衆を惹きつけるミステリアスな魅力をはらんだ理論物理学。その中の素粒子理論に至るまでの大学物理学を俯瞰し、学習に取り組んでいけるように構成された物理学の入門ガイドです。

## 令和5(2023)年度実績

### ●種類別

会場	図書館企画		オンデマンド		計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
伊都(中央)	4	45	17	3,061	21	3,106
伊都(理系)	4	49	13	434	17	483
病院	0	0	3	140	3	140
芸工	0	0	0	0	0	0
筑紫	0	0	0	0	0	0
全地区(オンライン)	45	1,148	1	9	46	1,157
合計	53	1,242	34	3,644	87	4,886

### ●受講者別

会場	受講者数					計
	教職員	院生	学部生	学内その他	学外者	
伊都(中央)	16	20	3,069	1	0	3,106
伊都(理系)	1	126	356	0	0	483
病院	5	12	123	0	0	140
芸工	0	0	0	0	0	0
筑紫	0	0	0	0	0	0
全地区(オンライン)	175	244	694	41	3	1,157
合計	197	402	4,242	42	3	4,886

### ●実施言語別

言語	回数	受講者数
日本語	74	4,662
英語	13	224

### ●講師別

講師	回数	受講者数
図書館職員	58	4,014
Cuter	11	522
図書館職員・Cuter	5	103
外部講師	12	238
図書館職員・外部講師	1	9

### ●eラーニング教材

講座名	実施言語	講師	受講者数
レポートの書き方講座	日本語	Cuter	59
実験レポート講座	日本語	Cuter	20
プレゼン講座	日本語	図書館職員・Cuter	23
日本語文献の確実な入手法	日本語	図書館職員	144
英語論文の効果的な集め方	日本語	図書館職員	92
日本語文献の確実な入手法(医学)	日本語	図書館職員	32
英語論文の効果的な集め方(医学)	日本語	図書館職員	26
How to search for academic papers	英語	図書館職員	27

#### ● あなたに知ってほしい生理のはなし

女性・男性を問わず知っておいた方が良い生理について、多角的な観点から取り扱ったガイドです。生理それ自体にとどまらず、歴史、食品、ビジネス、アートなど、多彩なトピックがあります。

#### ● 知っておきたいスライドデザインの基本

スライドデザインの基本と便利テクニックを分かりやすく紹介したガイドです。講義、学会、就活など、学生生活の様々な場面でプレゼンテーションに取り組む際に役立ちます。

#### ● やさしい日本語でやさしくなりたい!

外国の方とコミュニケーションをとる手段は、英語に限られているわけではありません。ちょっとした工夫で日本語でもコミュニケーションをとることができます。そんな素敵な「やさしい日本語」について紹介したガイドです。

## 新規コレクション

### ◆寄贈コレクション

令和5年度に韓国研究センターから中央図書館へ移設された3つの文庫資料の整理が完了し、利用が可能になりました。

#### ●白川文庫(中央図書館所蔵)

九州産業大学教授・白川豊氏の韓国関係資料を中心とする約2,700冊のコレクションです。白川氏は朝鮮近代文学を専門とし、昭和60年代には九州大学に助手として在籍していました。

#### ●辛基秀文庫(中央図書館所蔵)

映像作家で、朝鮮通信使研究の第一人者・辛基秀氏の日朝・日韓関係資料を中心とする約1,900冊のコレクションです。

#### ●西岡健治文庫(中央図書館所蔵)

福岡県立大学名誉教授・西岡健治氏の朝鮮古典文学資料を中心とする約1,300冊のコレクションです。西岡氏は平成9~10年度に九州大学で朝鮮語・朝鮮文学担当の非常勤講師を勤めていました。

## デジタルアーカイブ

当館では、本学が所蔵する貴重資料・記録資料等の目録データや画像を「貴重資料デジタルアーカイブ」等のデータベースから公開しています。

令和5年度は、国文学研究資料館「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」(以下、「歴史的典籍NW事業」)により、和本約2,400冊を、「ウェルビーイングの実現に貢献する高度人文情報人材養成プログラム:人文学×データサイエンスによる「人文情報学」大学院の設置」事業(以下、「Xプログラム事業」)により、貴重資料等約500点を、それぞれデジタル化しました。また、第60回貴重文物展示&講演会「資料からみる糸島の歴史」(p.7参照)に合わせ、糸島関係を中心とする絵図及び廣瀬文庫本『筑前名所図会』(一部)等関係資料をSky株式会社とのネーミングライツの命名権料によりデジタル化し、公開しました。

#### ●寺尾壽没後百年と音無文庫デジタル化

令和5(2023)年は天文学者寺尾壽(1855~1923)の没後百年で、東京理科大学近代科学資料館にて企画展が開催されるなど、改めてその業績が再評価されました。本学では、歴史的典籍NW事業等のプロジェクトにより、寺尾の国語国文学関係を中心とする旧蔵書である音無文庫のデジタル化を進めており、書き込み等から、寺尾が国語国文学の分野でもかなり本格的な研究を進めていたことがわかってきました。令和5年度は前年度にデジタル化した分を中心に74タイトル公開しました。

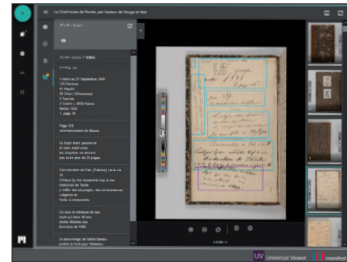
#### ●『知をつむぐ』第2版掲載資料のデジタル公開

令和5年12月に刊行した『知をつむぐ』第2版(増訂版)に、九大所蔵の史資料の情報を大幅に追加したことに合わせ、掲載資料の画像を新たに公開しました。旧玉泉館古文書等これまでほとんど存在が知られていなかったものを含みます。

#### ●スタンダード『パルムの僧院』手沢本の注釈付画像公開

令和6年3月、スタンダード『パルムの僧院(La Chartreuse de Parme:1839年刊)』手沢本のひとつ、シャペール本(l'exemplaire Chaper)を、翻刻注釈を付けて、九大コレクションから公開しました。この手沢本は、著者が第2版の出版を企図し、各丁に挟み込まれた600ページに及ぶ白紙におびただしい数の書き込みをしている貴重な資料で、所蔵する米国モルガン図書館&博物館の許可を得てデジタル化し、本学人文科学研究院の高木信宏教授が書き込みの翻刻を付しました。

本取り組みは、前述のXプログラム事業の一環として、大学院人文科学研究院と附属図書館との協働により行ったもので、デジタル・ヒューマニティーズの展開に向けた先駆的な連携事例となりました。



Volume 1 : <https://hdl.handle.net/2324/6791136>

Volume 2 : <https://hdl.handle.net/2324/6791137>

#### 〈主な新規公開コンテンツ〉

- ・堀文書 全13点
- ・糸島関係絵図 13点
- ・音無文庫 74タイトル
- ・旧国史学講座蒐集古文書 約380点



『百人一首和歌』(音無文庫、寺尾壽書入本)  
<https://hdl.handle.net/2324/7179528>



『奉天詰命』 嘉慶14年(1809)(旧玉泉館古文書)  
<https://hdl.handle.net/2324/7159354>

令和5年度新規画像公開点数 : 1,159点49,708コマ  
累積の画像公開点数 : 20,536点672,024コマ(令和6年3月31日現在)  
令和5年度アクセス件数 : 135,248件(画像未登録の目録データへのアクセスも含む)

## 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

平成18年の開設以来、学内の様々な研究成果の収集・蓄積・保存・公開に取り組んでいます。

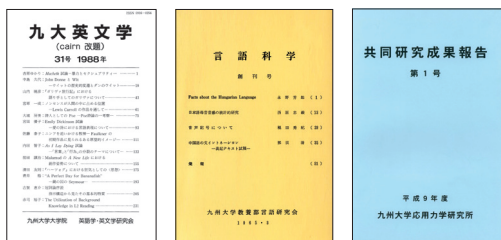
### ●令和5年度新規登録コンテンツ

令和5年度新規登録件数	4,482件
うち	
>OA方針対象コンテンツ	3,145件
>Q-RADeRSからの登録	488件
累積登録件数	59,337件(令和6年3月31日現在)
利用件数	5,785,351件(令和5年度)

※OA方針対象コンテンツ: 学術雑誌論文・会議発表論文・紀要論文

### (令和5年度に公開したバックナンバー)

- ・『九大英文学』(九州大学大学院英語学・英文学研究会)31-51号  
(昭和63年-平成21年)
- ・『言語科学』(九州大学大学院言語文化研究院)1-52号  
(昭和40年-平成29年)
- ・『全国共同利用研究成果報告』(九州大学応用力学研究所)1-8号  
(平成10年-平成17年)



### ●JPCOARスキーマVersion.2.0対応による研究成果流通環境の高度化

令和5年度は大規模なデータ整備を行い、メタデータの流通形式をアップデートしました。旧来のjunii2から国際的な相互運用性が高いJPCOARスキーマへ切替えたことにより、IRDB(学術機関リポジトリデータベース)を通して外部に流通するメタデータが大幅に増加し、著者の識別子や所属機関、会議情報、助成情報等が国内外の論文データベース等に反映されるようになりました。さらに最新版のVersion 2.0対応により、研究データやデジタルアーカイブのメタデータの充実化が可能になりました。

### ●九州大学国際宇宙惑星環境研究センター(i-SPES)の研究データの登録

名古屋大学で採択されたROIS-DS共同研究「研究データの可視化・検索向上を目指したメタデータマネジメントの実践」へ、i-SPESと共に参画しました。同研究では、研究分野における専門性の高いメタデータを流通性の高い汎用的なスキーマに変換することで、研究データの可視化や検索性の向上を目指しています。令和5年度は、i-SPESが公開する180件の地磁気の観測データについて、名古屋大学で実践された手法に基づき、宇宙地球科学分野のSPASEスキーマのメタデータを、JPCOARスキーマに変換してQIRに登録しました。

### ●研究データ公開支援

下記ページを更新し、DOI付与に必要な項目を明示し、内容を充実させました。

[QIRにおける研究データの公開] <https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/services/open/qir/researchdata>

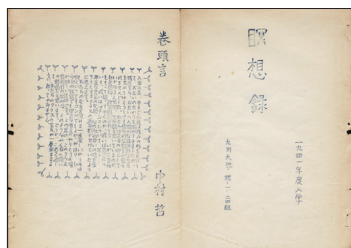
論文の根拠データや補足データをQIRで公開してDOIを取得するユースケースも示しています(実例:<https://doi.org/10.48708/6796400>)。

### ◆中村哲著述アーカイブ

令和3年3月公開

中村医師の35年にわたる現地活動の貴重な記録とその著述資料を電子化して蓄積し、許諾を得られたものはインターネット上で公開しています。個人・団体・メディアなどによる様々な協力の下、令和5年度は、新聞・雑誌記事、講演録などを中心に、中村哲氏の活動を伝える資料352件を登録し、累計コンテンツ数は1,498件となりました。(令和6年3月31日現在)

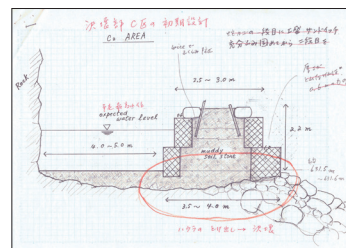
また同級生の方々のご協力で、文集、イラスト、九州大学医学部に在籍時のクラス誌など、氏の人柄を知る手掛かりとなる資料を登録・公開することができました。更に学内外の展覧会企画に協力する中で、本アーカイブコンテンツが、資料調査や展示に活用されました。中村哲医師メモリアルアーカイブにもタブレットを設置し、本アーカイブをご覧いただけるようになりました。



クラス誌「瞑想録」昭和41年度入学  
九州大学(教養部)理-I-24組  
<https://hdl.handle.net/2324/7168978>



『みんなで生きる』156号  
(日本キリスト教海外医療協会、昭和59年)  
<https://hdl.handle.net/2324/7164764>



「決壊部C区の初期設計」マルワード用水路  
C区的设计\_断面図(平成16年)  
<https://hdl.handle.net/2324/4844374>

# 研究開発室 Research & Development

## 令和5年度研究開発室研究開発事項

### ● 総括

研究開発の総括	谷口倫一郎(附属図書館長、理事、副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	----------------------	---

### ● I 学習・教育活動との連携に関する分野

図書館による学習・教育支援に関する調査研究	竹熊 尚夫(副館長) 清水 敏之(研究開発室) 山田 政寛(データ駆動イノベーション推進本部)	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行うとともに、図書館利用状況の分析にもとづく、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。
図書館による教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田 義広(付設教材開発センター) 吉田 素文(特別研究員)	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかると著作権処理問題について調査研究を行う。

### ● II コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

九州大学所蔵資料および資料保存に関する調査研究	川平 敏文(人文科学研究院) 岩崎 義則(人文科学研究院) 中里見 敬(言語文化研究院) 永島 広紀(韓国研究センター) 赤司 友徳(大学文書館) 三輪 宗弘(付設記録資料館) 梶嶋 政司(付設記録資料館) 平 将志(付設記録資料館) 原口 大輔(付設記録資料館) Wolfgang Michel(特別研究員) 和仁 かや(特別研究員) 古賀 康士(特別研究員)	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、由来や内容、価値等の調査や、画像及び書誌データベース作成等についての調査研究を行うとともに、図書館における資料保存・管理体制等についての調査研究を行う。
図書館に係る学術情報の流通および発信に関する調査研究	清水 敏之(研究開発室) 富浦 洋一(システム情報科学研究院) 畑畑 晃平(システム情報科学研究院) 池田 大輔(システム情報科学研究院) 石田 栄美(データ駆動イノベーション推進本部)	学術情報資源(研究データ等を含む)をより効果的に蓄積・発信するために、管理・発信機能の高度化と検索システムに関する研究開発を行うとともに、それらを活用した新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。

### ● III 図書館運営に関する分野

図書館における高度専門知識を有する人材育成に関する調査研究	石田 栄美(データ駆動イノベーション推進本部)	国内外の図書館の動向を踏まえつつ、図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
-------------------------------	-------------------------	--

## 研究開発室活動トピック

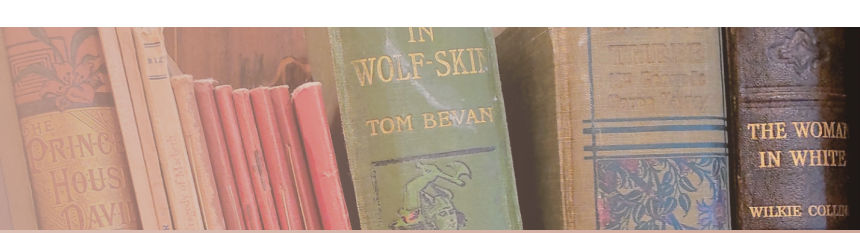
### ● 第49回貴重文物講習会「雅俗文庫 一特色・みどころ・これから」

【開催日】令和5年12月20日(水) 13:30~14:45  
 【会場】九州大学中央図書館4F会議室(オンライン配信)  
 【講演者】人文科学研究院 川平敏文教授  
 (附属図書館研究開発室員)  
 【参加者】約56名

令和6年度に開催予定の第61回附属図書館貴重文物展示「続・雅俗繚乱 一江戸の秘本・珍本・自筆本」に向けた準備の一環として、図書館職員をおもな対象として第49回貴重文物講習会「雅俗文庫 一特色・みどころ・これから」をオンラインで開催しました。受入経緯や特色などのわかりやすい解説に、展示会へ向けた意欲が高まるものとなりました。

### ● 研究開発室活動発表会

【開催日】令和6年2月27日(火) 10:00~11:45  
 【会場】九州大学中央図書館4F Sky Cute.Commons講習会スペース+Microsoft Teamsでオンライン配信  
 【参加者】44名  
 【プログラム】  
 清水敏之(附属図書館研究開発室准教授)「メタデータのキュレーションとデータセット検索」  
 原賀可奈子(収書整理課図書目録係長)「教育課程文庫の紹介~NELを中心に~」  
 佐方小弓(収書整理課図書受入係長)「低温殺虫処理の導入と定着の経緯」  
 安田さくら(収書整理課雑誌情報係員)「イリノイ大学とミシガン大学の研究データサービスに対する訪問調査」



## 附属図書館職員のための展示リテラシー向上ミニ研修

【日 程】令和5年6月8日(木) 11:10~11:30  
【場 所】九州大学中央図書館3Fエントランス+オンライン同時配信  
【対 象】九州大学附属図書館の職員  
【参加者】対面12名 オンライン19名

附属図書館では、毎年貴重文物展示を開催するなど、展示会を重要な活動と位置付けています。今後の展示会をさらに効果的・魅力的なものとするため、図書館職員が展示手法について学びきっかけとなるようなミニ研修を開催しました。

本研修は、中央図書館で令和5年5~6月に催された巡回展「帝国日本と森林—近代東アジアにおける環境保護と資源開発—」と連動したイベントです。巡回展の企画者の一人である三島美佐子教授(総合研究博物館)の協力のもとに実施しました。研修では、三島教授から、巡回展の実際の展示を目の前にして、展示内容ではなく、展示の考え方や手法を解説いただきました。加えて、中央図書館エントランスの展示スペースが持つポテンシャルについても語っていただきました。研修の様子はオンラインでも同時配信を行い、多数の参加がありました。参加者は熱心に聞き入り、非常に有益な研修となりました。

## 第10回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー

第10回中国・四国・九州地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナーを開催しました。本セミナーは、中国・四国・九州・沖縄地区大学等の図書館職員として採用された職員が、職員としての第一歩を踏み出すにあたって必要な図書館業務の知識を修得することを目的としています。

今回はオンラインでの開催となりました。講義では、九州地区の国立大学図書館職員が講師を務め、利用者サービス、収書整理、オープンサイエンス、学習支援等、幅広いテーマを扱いました。グループワークでは、職員研修ワーキンググループのメンバーがファシリテータを務め、参加者同士で、大学図書館の広報について活発な議論を交わしました。

参加者からは、「基礎が学ぶことができた」、「直面している課題なので参考になった」、「他大学の職員との情報交換ができてよかった」といった感想が数多く寄せられ、有意義なセミナーとなりました。

【開催日】令和5年9月21日(木)  
【会 場】オンライン  
【主 催】国立大学図書館協会九州地区協会、九州地区大学図書館協議会、国立大学図書館協会中国四国地区協会、中国四国地区大学図書館協議会  
【参加者】38名

### 【プログラム】

講義①「図書館サービスと改修事例」

講師：市原瑞基(宮崎大学附属図書館本館利用係長)

講義②「目録について」

講師：倉野彩子(熊本大学教育研究支援部図書館課図書担当)

講義③「オープンサイエンスと大学図書館」

講師：大谷周平(琉球大学附属図書館情報管理課情報支援係長)

講義④「大学図書館における学習支援」

講師：森田紗季(九州工業大学附属図書館情報基盤課図書館サービス係)

グループワーク①(自己紹介・アイスブレイク)

グループワーク②(大学図書館の広報について)

グループ討議・討議内容の報告発表

## 令和5年度初任者研修

【開催日】令和5年5月15日(月)、17日(水)、18日(木)  
【実施方法】対面+オンライン講義  
【受講者】全日程受講者2名

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。オンライン講義では初任者以外の職員の部分受講も多くありました。日々の業務を俯瞰できる有意義な機会となりました。

### 【プログラム】九州大学附属図書館の特徴と課題

図書館企画課の業務

収書整理課の業務

記録資料館見学

学術サポート課の業務

利用者サービス課の業務

貴重書室見学

ネットワークとセキュリティ

eリソース系の業務

センパイと話そう

# 統計 = 利用サービス = Statistics

令和5(2023)年度

			中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	合計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday		238	239	215	238	238	1,168
	土曜 Saturday		49	49	23	49	49	219
	日曜・祝日 Others		59	64	2	0	59	184
	合計 Total		346	352	240	287	346	1,571
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties		18,867	8,257	1,601	2,262	12,022	43,009
	学生 Students		296,099	133,312	15,052	15,128	206,732	666,323
	学外者 Others		20,505	2,877	2,726	1,168	4,234	31,510
	合計 Total		335,471	144,446	19,379	18,558	222,988	740,842
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties		19,948	3,013	1,223	2,222	9,977	36,383
	学生 Students		78,786	4,530	6,613	5,495	47,667	143,091
	学外者 Others		595	255	123	200	230	1,403
	合計 Total		99,329	7,798	7,959	7,917	57,874	180,877
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties		10,719	1,469	668	1,555	6,333	20,744
	学生 Students		45,225	2,949	3,160	4,012	31,491	86,837
	学外者 Others		361	109	68	121	143	802
	合計 Total		56,305	4,527	3,896	5,688	37,967	108,383
文献複写等件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)		2,009	2,549	62	18	578	5,216
	学外からの受付(国外) Requests(International)		26	0	0	0	0	26
	小計 Subtotal		2,035	2,549	62	18	578	5,242
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)		488	410	45	10	181	1,134
	合計 Total		2,523	2,959	107	28	759	6,376
	(うち謝絶) (cancel)		369	345	12	7	39	772
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)		2,495	1,397	278	106	606	4,882
	学外への依頼(国外) Received(International)		1,085	340	45	63	237	1,770
	合計 Total		3,580	1,737	323	169	843	6,652
	(うち謝絶) (cancel)		165	68	13	15	37	298
	NDL閲覧 Browse(NDL)		62	4	2	0	4	72
	NDL複写 Copies(NDL)		85	4	1	0	2	92
	合計 Total		147	8	3	0	6	164
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)		1,696	51	78	11	171	2,007
	学外からの受付(国外) Borrows(International)		1	0	0	0	0	1
	合計 Total		1,697	51	78	11	171	2,008
	(うち謝絶) (cancel)		106	3	3	3	12	127
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)		1,187	24	29	10	93	1,343
	学外への依頼(国外) Loans(International)		3	0	0	0	0	3
合計 Total		1,190	24	29	10	93	1,346	
(うち謝絶) (cancel)		181	6	1	5	8	201	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties		299	293	48	108	225	973
	学生 Students		1,537	395	212	188	1,088	3,420
	学外者 Others		542	236	45	44	157	1,024
	合計 Total		2,378	924	305	340	1,470	5,417
	所在調査 Holdings		458	155	126	60	338	1,137
	事項調査 Topics		172	28	13	89	59	361
	利用指導・その他 Instructions /Others		1,748	741	166	191	1,073	3,919
	合計 Total		2,378	924	305	340	1,470	5,417

文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む  
NDLは、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」を示す

## 電子ジャーナルの利用 (主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2023.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	613,963	Nature Site License	636,662
American Institute of Physics (AIP)	73,000	ProQuest Central	27,469
American Physical Society (APS)	40,196	Science online	93,530
Elsevier ScienceDirect	1,893,273	SpringerLink	214,006
IEEE POP	25,141	Wiley Online Library	749,726
JSTOR Arts & Sciences I, II	46,280	合計 Total	4,413,246

\*利用件数にはオープンアクセス論文のダウンロードも含む

## 電子ブックの利用 (主要プラットフォームの利用件数)

E-books

Number of use in major e-book platforms

2023.1.1-12.31

プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access	プラットフォーム名称 Platform	利用件数 Access
EBSCOhost	5,391	ProQuest Ebook Central	2,201
KinoDen	1,988	ScienceDirect	3,315
JapanKnowledge	296,311	SpringerLink	21,637
Maruzen eBook Library	18,871	Wiley Online Library	2,838
Oxford University Press	3,420		

\*利用件数の数値は、各プラットフォームごとで基準が異なる

## 情報検索サービスの利用

Databases

2023.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions	
ディスカバリサービス Discovery services	九大コレクション	ディスカバリ(ローカル)	2,266,921	—	
	文献情報 Abstracts & index databases	SciFinder-n	化学	204,685	—
		Web of Science	全分野	247,830	—
		Scopus	全分野	160,939	—
		医中誌Web	医学	103,764	46,778
		Business Source Complete (EBSCOhost)	経済・経営学	62,394	27,020
		Econlit (EBSCOhost)	経済学	62,048	26,105
		CINAHL (EBSCOhost)	看護学	64,785	26,046
		PsycINFO (Ovid)	心理学	4,621	478
		MEDLINE (Ovid)	医学	22,066	600
EBM Reviews (Ovid)		医学	3,805	415	
ERIC (Ovid)	教育学	239	20		
事典類 References	JapanKnowledge	全分野	393,761	—	
	理科年表プレミアム	自然科学	—	149	
	化学書資料館	化学	—	17,531	
	Oxford English Dictionary	言語	—	2,714	
	研究社オンライン・ティクショナリー	言語	—	238	
新聞 Newspaper articles	朝日新聞クロスサーチ	朝日新聞など	5,859	5,569	
	西日本新聞データベース	西日本新聞	3,506	—	
	毎索	毎日新聞など	5,930	2,076	
	ヨミダス歴史館	読売新聞など	15,795	—	
その他 Others	Journal Citation Reports	インパクトファクター	14,865	8,613	
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	169,382	—	
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	6,575	—	

## 学内配送サービスの利用 (図書の貸出・返却に学内配送システムを利用した回数)

Inter-campus book delivery

令和5(2023)年度

から from	へ to	中央図書館 Central Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	計 Total
中央図書館 Central Lib.			7,626	1,846	2,224	811	12,507
理系図書館 Science and Technology Lib.		7,802		1,120	979	1,158	11,059
医学図書館 Medical Lib.		2,188	1,300		216	211	3,915
芸術工学図書館 Design Lib.		2,463	1,016	205		147	3,831
筑紫図書館 Chikushi Lib.		912	1,230	187	159		2,488
計 Total		13,365	11,172	3,358	3,578	2,327	33,800

# 統計 = 基盤サービス = Statistics

## ■ 図書・雑誌 (冊子体) の受入 Current acquisitions of materials

令和5(2023)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館	中央図書館 Central Library	19,153	2,586	21,739	540	40	580
	人文科学研究院 Faculty of Humanities	2,853	624	3,477	1,477	144	1,621
	人間環境学研究院 Faculty of Human-Environment Studies	311	143	454	316	61	377
	法学研究院※法務学府含む Faculty of Law	1,732	650	2,382	488	206	694
	経済学研究院 Faculty of Economics	588	257	845	356	120	476
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	534	94	628	66	9	75
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	739	102	841	8	9	17
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	91	59	150	5	0	5
	共創学部 School of Interdisciplinary Science and Innovation	0	0	0	1	0	1
	小計 Central Library Total	26,001	4,515	30,516	3,257	589	3,846
医学図書館	医学図書館 Medical Library	869	182	1,051	437	86	523
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	61	0	61	45	2	47
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	0	0	9	8	17
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	1	0	1	8	0	8
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	0	0	1	0	1
	病院(医・歯) University Hospital	3	4	7	152	38	190
	小計 Medical Library Total	934	186	1,120	652	134	786
芸術工学図書館 Design Library	700	96	796	187	16	203	
建築図書館	建築図書館 Chikushi Library	520	900	1,420	105	15	120
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	0	3	3	11	0	11
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	6	2	8
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	0	0	0	1	0	1
	小計 Chikushi Library Total	520	903	1,423	123	17	140
理系図書館	理系図書館 Science and Technology Library	1,673	249	1,922	95	11	106
	理学研究院 Faculty of Science	12	35	47	40	22	62
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	61	1,435	1,496	28	284	312
	工学研究院 Faculty of Engineering	64	54	118	79	23	102
	システム情報学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	31	53	84	16	14	30
	農学研究院 Faculty of Agriculture	179	37	216	283	234	517
	小計 Science and Technology Library Total	2,020	1,863	3,883	541	588	1,129
別府病院 Beppu Hospital	0	0	0	2	0	2	
記録資料館 Manuscript Library	166	41	207	52	0	52	
合計 Total	30,341	7,604	37,945	4,814	1,344	6,158	

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館の単位で大区分を行い、その中を部局・附置研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館の項目に計上している。

(注2) 統合新領域学府ユースター感性スタディーズ専攻、ライブラリーサイエンス専攻、韓国研究センター、留学生センター、EUセンターは、中央図書館の項目に計上している。

(注3) 統合新領域学府オートモチティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所、情報基盤研究開発センターは、理系図書館の項目に計上している。

## 資料費 Expenditures for library materials

令和5(2023)年度  
(単位:千円/thousand yen)

		図書費	雑誌・新聞費	eリソース	その他	資料費総額
		Books	Serials	Electronic resources	Others	Total
中央図書館	Central Library	139,682	87,245	689,165	6,543	922,634
医学図書館	Medical Library	16,367	9,872	31,169	1,091	58,500
芸術工学図書館	Design Library	10,268	3,353	263	130	14,014
筑紫図書館	Chikushi Library	9,891	1,776	767	434	12,868
理系図書館	Science and Technology Library	50,995	59,402	30,891	2,761	144,049
別府病院	Beppu Hospital	0	48	177	0	225
記録資料館	Manuscript Library	2,553	69	0	29	2,652
合計	Total	229,756	161,765	752,433	10,988	1,154,942

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上。

(注2) eリソースにはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む。

(注4) 情報基盤研究開発センターは理系図書館に計上。

## 電子ブック・電子ジャーナル E-Books and E-Journals

令和6年(2024)年4月1日現在

### アクセス可能な電子ブック(無料タイトル含む)

Accessible e-books (including free titles)

純タイトル数 Unique titles	228,908
----------------------	---------

### アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む)

Accesible e-journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles	112,878
----------------------	---------

## 契約タイトル数 Licensed e-Journals

令和5年(2023)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	70	KISS: 人文・社会・語文・芸術・体育雑誌	1,556
American Institute of Physics (AIP)	10	LexisNexis: Nexis Uni	12,474
American Physical Society (APS)	11	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	29
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	33	Medical Online Library (MOL) *	1,578
Association for Computing Machinery (ACM)	120	Oxford University Press	47
Cambridge University Press	39	ProQuest Central	19,368
Cell Press	11	Science (AAAS)	2
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	Springer Nature: Nature	29
CNKI: 中国学術雑誌(CAJ)	3,801	Springer Nature: SpringerLink	76
DBpia: 人文社会系パッケージ	1,254	Taylor & Francis	64
EBSCOhost: Business Source Complete	3,834	UniBio Press *	5
EBSCOhost: EconLit with Full Text	681	University of Chicago Press	3
Elsevier ScienceDirect	2,364	Wiley Online Library	1,353
IEEE: ASPP Online, POP Online	302	World Scientific Publishing	4
IEICE *	8	日本物理学会(JPS) *	1
Institute of Physics (IOP)	11	その他	362
JSTOR: Archival Journals & Primary Sources Collection	5,033	合計 Total	54,535

\* 国内誌

## 蔵書数 Holdings

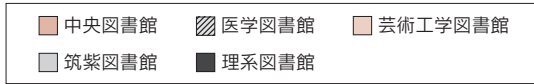
令和6(2024)年3月31日現在

		図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館	Central Library	1,665,965	898,220	2,564,185	27,663	10,917	38,580
医学図書館	Medical Library	138,190	174,250	312,440	3,132	7,159	10,291
芸術工学図書館	Design Library	125,890	48,843	174,733	1,888	921	2,809
筑紫図書館	Chikushi Library	55,283	62,841	118,124	539	1,130	1,669
理系図書館	Science and Technology Library	404,870	604,378	1,009,248	9,996	13,676	23,672
別府病院	Beppu Hospital	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館	Manuscript Library	47,203	3,817	51,020	72	2	74
合計	Total	2,444,094	1,805,840	4,249,934	43,582	34,152	77,734

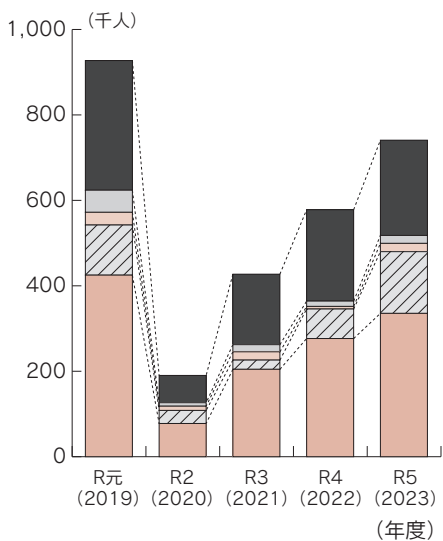
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

# 統計 = 推移と分析 = Statistics

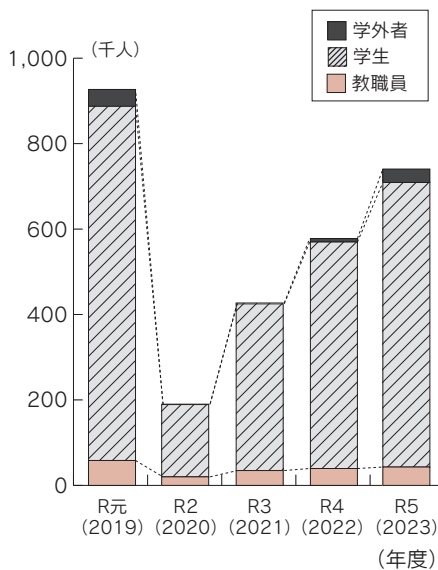
## ■ 利用サービスの推移



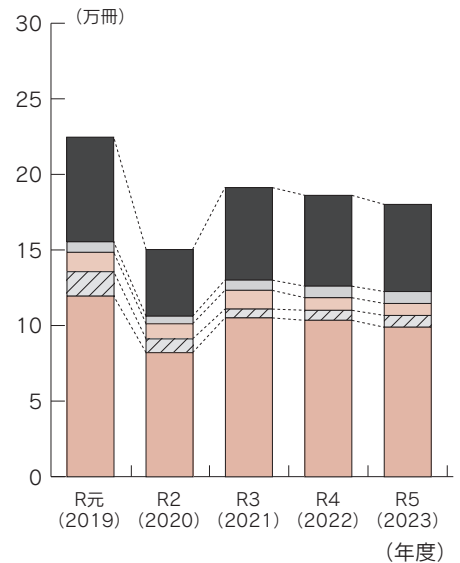
入館者数



身分別入館者数



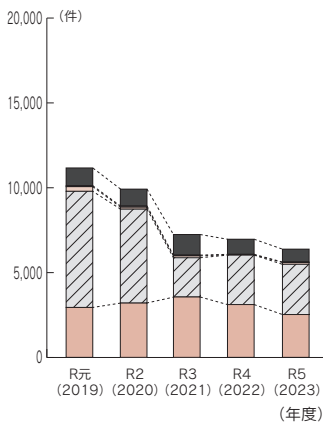
貸出冊数



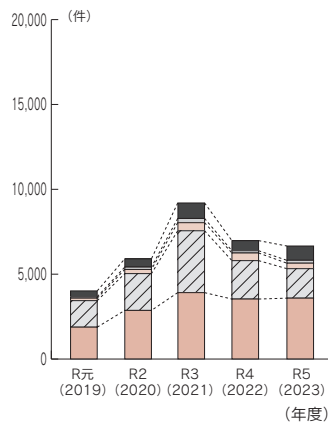
令和5年度の入館者数は前年度比約28%増となり、新型コロナウイルスの影響で極端に落ち込んだ令和2年度以降3年間で着実に回復しつつあります。学生の入館者数はもとより、学外者数の変化も大きく、新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことが要因と考えられます。

これに対し、貸出冊数は減少傾向が続いています。館別で見ると、令和4年9月で改修工事が完了した医学図書館と、令和4年度から学部生の授業が開講されている筑紫地区の筑紫図書館については、貸出冊数が伸びています。

文献複写件数【受付】



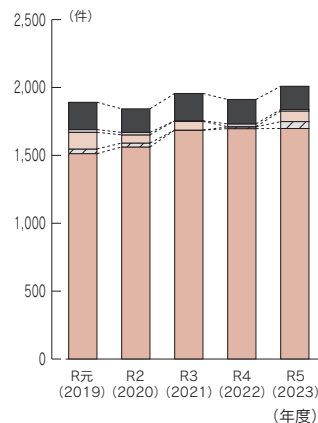
文献複写件数【依頼】



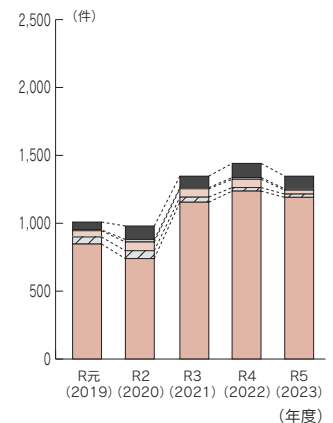
医学図書館・芸術工学図書館・筑紫図書館の改修工事が全て完了し、全5館ともに改修前と同等の業務体制に戻りました。とはいえ、受付件数が年々減少傾向にあるのは、国内外での資料の電子化公開が順調に進んでいる証左だとも言えます。

依頼については、コロナ禍だった令和3年度の件数が最も多くなっているものの、その他の年度では安定したリクエスト数があり、令和2年度から実施している論文等コピーの取り寄せにかかる費用の補助事業が浸透し、研究活動を下支えしているものと思われる。

相互貸借件数【受付】

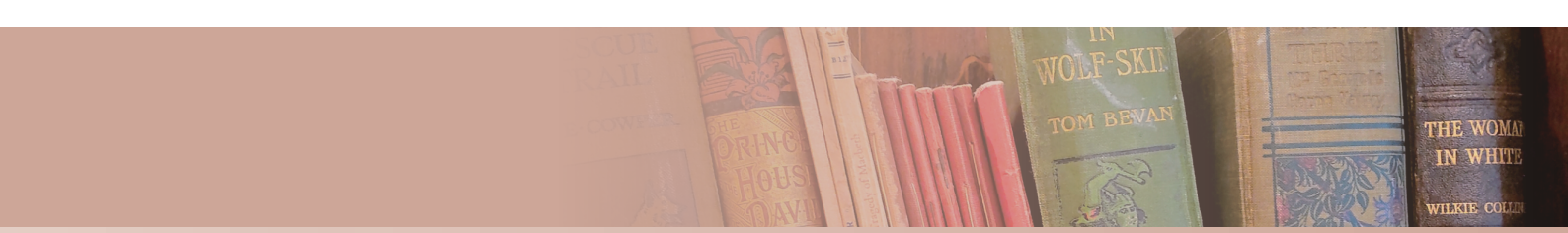


相互貸借件数【依頼】

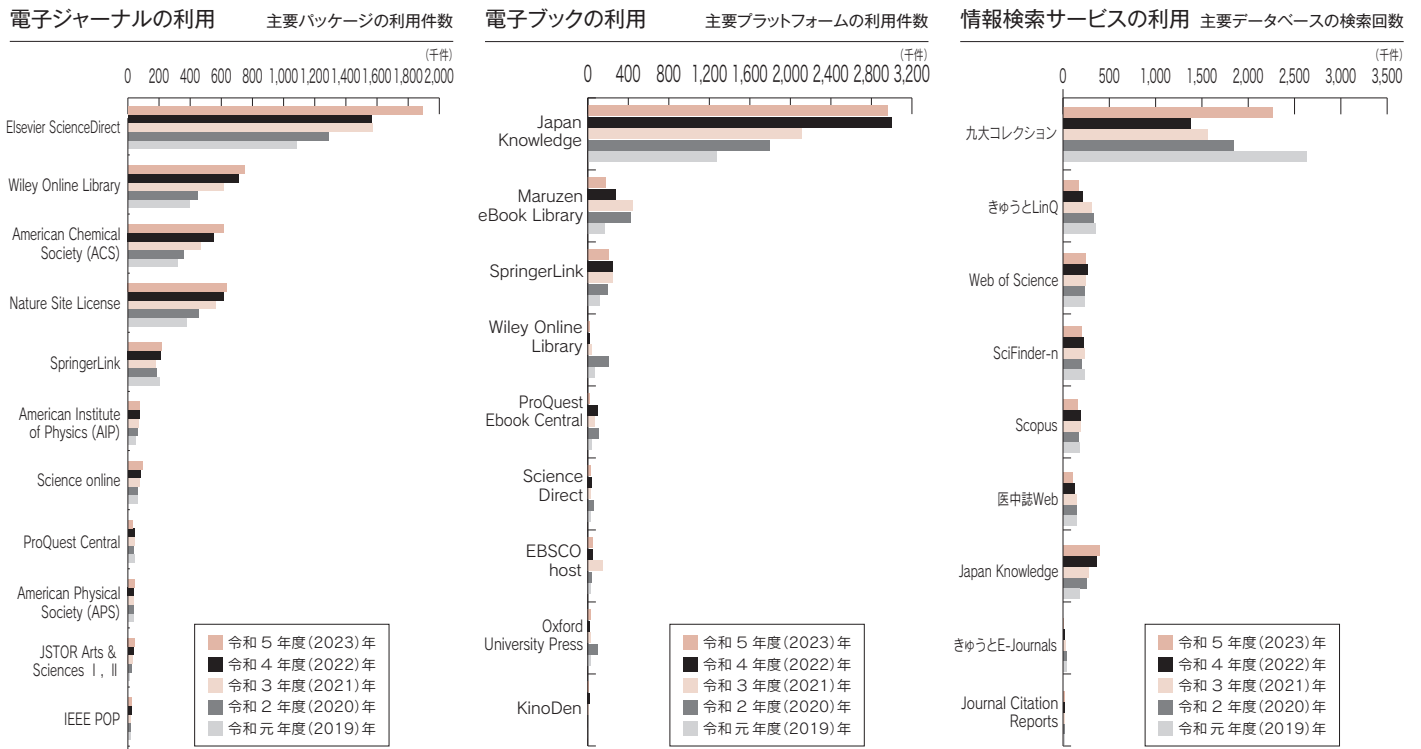


受付（学外機関への図書の貸出）は、これまで同様、学外機関からの多くのリクエストに安定的に応えています。

依頼（学外機関からの図書の借受）との件数の比較においても、受付の方が大幅に上回っており、学術情報の相互利用の面で全国的に貢献し続けています。



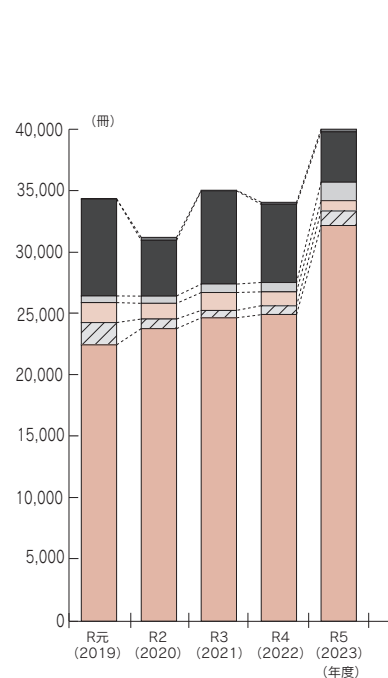
## 電子ジャーナル・電子ブック・情報検索サービスの利用の推移



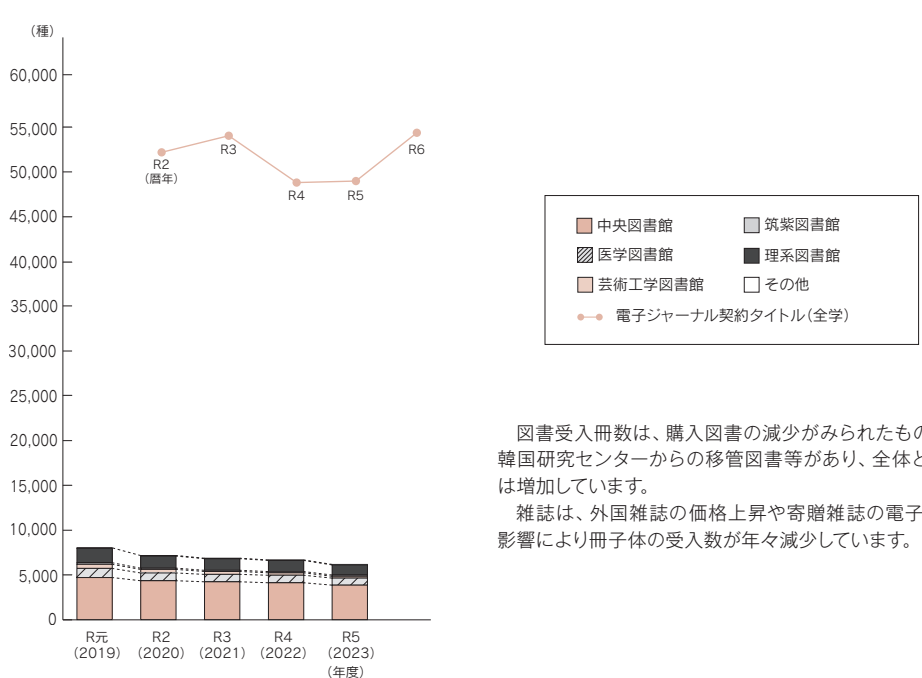
電子ジャーナルと情報検索サービスは安定した利用状況が続いています。電子ブックについては、提供元ごとで傾向が異なりますが、全体的にはコロナ禍以前よりも大幅に利用が増えており、電子ブックを利用することが利用者の間で定着してきていることがうかがえます。

## 資料受入の推移

図書受入冊数



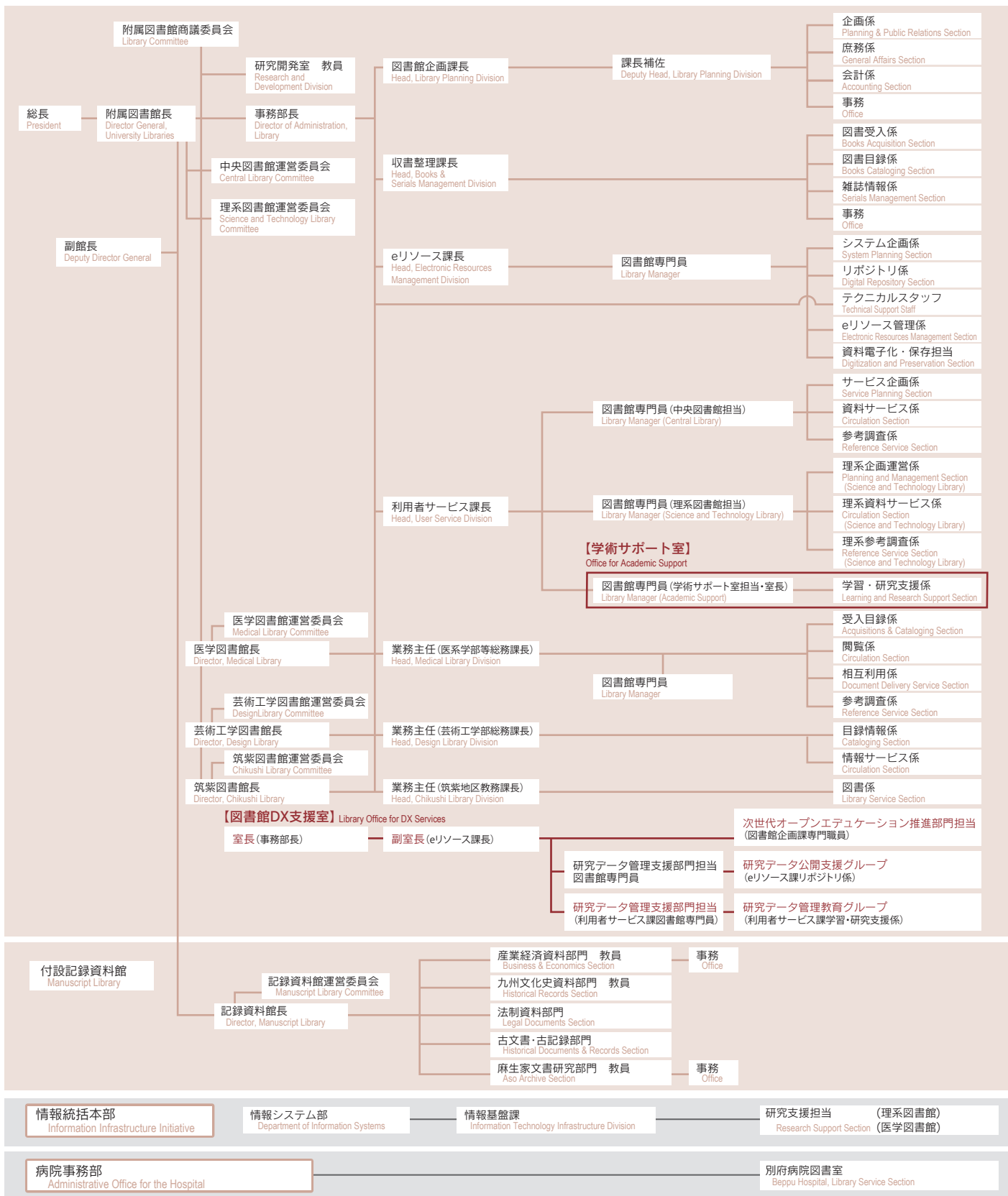
雑誌受入種類数



図書受入冊数は、購入図書の減少がみられたものの、韓国研究センターからの移管図書等があり、全体としては増加しています。

雑誌は、外国雑誌の価格上昇や寄贈雑誌の電子化の影響により冊子体の受入数が年々減少しています。

# 附属図書館の組織 Organization



(令和6年4月1日現在)

区分	教授	准教授	助教	合計
教員数	1	4	1	6

※専任教員のみ。

区分	事務部長	課長	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
職員数	1	4	5	24	85 (45)	119

※ 情報統括本部情報システム部情報基盤課研究支援担当を含む。( )内は非常勤職員で内数。

## 附属図書館長・副館長・分館長等

令和6年4月1日現在

附属図書館長	谷口倫一郎(理事、副学長)	筑紫図書館長	濱本 貴一(総合理工学研究院 教授)
副館長	井手誠之輔(人文科学研究院 教授)	記録資料館長	井手誠之輔(人文科学研究院 教授)
医学図書館長	加藤 聖子(医学研究院 教授)	事務部長	鈴木 雅子
芸術工学図書館長	朝廣 和夫(芸術工学研究院 教授)		

## 附属図書館商議委員会

令和6年4月1日現在

### ■委員長

谷口倫一郎(附属図書館長)

山下 潤(比較社会文化研究院 教授)

古賀 徹(芸術工学研究院 教授)

### ■委員

井手誠之輔(副館長)

飯嶋 秀治(人間環境学研究院 教授)

志堂寺和則(システム情報科学研究院 教授)

加藤 聖子(医学図書館長)

遠藤 歩(法学研究院 教授)

杉原 裕司(総合理工学研究院 教授)

朝廣 和夫(芸術工学図書館長)

清水 一史(経済学研究院 教授)

前田 幸嗣(農学研究院 教授)

濱本 貴一(筑紫図書館長)

李 相穆(言語文化研究院 教授)

角 俊雄(基幹教育院 教授)

井手誠之輔(記録資料館長)

酒井 健(理学研究院 教授)

馬場 健史(生体防御医学研究所 教授)

岡村 耕二(情報基盤研究開発センター長)

稲濱 謙(数理学研究院 教授)

寒川 義裕(応用力学研究所 教授)

岩田 健治(留学生センター長)

三浦 岳(医学研究院 教授)

國信洋一郎(先導物質化学研究所 教授)

岡野 潔(人文科学研究院 教授)

重村 憲徳(歯学研究院 教授)

縫田 光司(マス・フォア・インダストリ研究所 教授)

片山 勉(薬学研究院 教授)

鈴木 雅子(附属図書館事務部長)

守田 幸路(工学研究院 教授)

## 所属する図書館関係団体と九州大学の役割

### 附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館)  
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館)  
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館)  
福岡県図書館協会 理事:館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)  
福岡県・佐賀県大学図書館協議会 理事館(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

### 医学図書館

日本医学図書館協会(全国の医学系大学図書館および病院図書館・図書室)  
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系大学図書館)

## 外部委員会での職員の役割

令和5年度

- 細川 聖二(事務部長)  
国公立大学図書館協力委員会 大学図書館研究編集委員会
- 渡邊 由紀子(次長・准教授)  
福岡市総合図書館運営審議会 委員(会長)  
日本図書館情報学会編集委員会 委員
- 結城 憲司(図書館企画課長)  
オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) 運営委員会委員
- 堀 優子(eリソース課長)  
国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会委員  
国立大学図書館協会資料委員会電子資料小委員会委員  
大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 運営委員会委員・OA推進作業部会主査
- 大村 武史(収書整理課雑誌情報係長)  
国立大学図書館協会 総務委員会委員
- 松石 健祐(eリソース課 eリソース管理係長)  
大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 交渉作業部会委員
- 羽賀 真記子(利用者サービス課資料サービス係長)  
国立情報学研究所「目録システム書誌作成研修」企画ワーキンググループメンバー
- 渡邊 真由美(医学図書館受入目録係長)  
特定非営利活動法人日本医学図書館協会 評議員
- 中村 智晴(収書整理課雑誌情報係員)  
国公立大学図書館協力委員会 大学図書館研究編集委員会委員
- 岡村 菜々子(eリソース課リポジトリ係員)  
オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) コンテンツ流通促進作業部会・作業部会委員
- 金子 美弥(eリソース課 eリソース管理係員)  
大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 交渉作業部会委員・OA推進作業部会委員

# 人事異動 Personnel Reshuffle

(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

## ■学外への転出

4/1	首東 誠	(大分大学研究推進部学術情報課長)	利)利用者サービス課長
4/1	別府 妙子	(佐賀大学学術研究部情報図書館課長)	収)雑誌情報係長
4/1	宇戸 和彦	(夜須高原青少年自然の家)	企)会計係長
4/1	岩崎 崇宏	(文部科学省国際業務研修生)	学)学習・研究支援係

## ■中央図書館・理系図書館

4/1	竹熊 尚夫	附属図書館副館長	
4/1	大瀬 礼二	利)利用者サービス課長	大分大学研究推進部学術情報課長
4/1	兵藤 健志	利)図書館専門員(中央図書館)	利)参考調査係長
4/1	吉松 直美	利)図書館専門員(理系図書館)	医)図書館専門員
4/1	瓜生 照久	DX)図書館専門員(再雇用)	DX)図書館専門員
4/1	梶原 瑠衣	企)企画係長	収)図書受入係
4/1	上村 章二	企)会計係長	理学部等財務課経理係長
4/1	原賀可奈子	収)図書目録係長	利)資料サービス係長
4/1	大村 武史	収)雑誌情報係長	e)システム企画係長
4/1	詫間沙由香	e)システム企画係長	医)相互利用係・参考調査係長
4/1	山根 泰志	e)専門職員	企)企画係長
4/1	小柳 貴俊	利)サービス企画係長	利)理系資料サービス係長
4/1	羽賀真記子	利)資料サービス係長	利)サービス企画係長
4/1	工藤絵理子	利)参考調査係長	利)理系参考調査係
4/1	鳥居 愛	利)理系企画運営係長	収)図書目録係長
4/1	沖 政広	利)理系資料サービス係長	利)理系参考調査係長
4/1	嶋田 香	利)理系参考調査係長	利)理系企画運営係長
4/1	斎藤友利子	収)図書受入係	収)雑誌情報係
4/1	安田さくら	収)雑誌情報係	学)学習・研究支援係
4/1	末綱 直子	収)一般職員(再雇用)	理学部等総務課(博物館)
4/1	平野かおる	e)リポトリ係	医)受入目録係
4/1	金子 美弥	e)eリソース管理係	情報システム・研究機構 国立情報学研究所 在籍出向
4/1	宮崎 祐汰	学)学習・研究支援係	e)eリソース管理係
4/1	佐野 直樹	学)学習・研究支援係	(採用)
4/1	城戸 弦太	利)理系企画運営係	医)相互利用係
4/1	北島 光朗	利)理系参考調査係	利)理系企画運営係
4/1	春沢 有美	収)図書受入係事務補佐員	(採用)
4/1	石田美智代	収)図書目録係事務補佐員	(採用)
4/1	古島 信子	収)図書目録係事務補佐員	(採用)
4/1	香月 直子	e)事務補佐員	(採用)
4/1	櫻井めぐみ	利)サービス企画係事務補佐員	(採用)
4/1	井上 佳世	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
4/1	上村 舞子	利)理系資料サービス係事務補佐員	(採用)
5/31	柳田 朱里	(退職)	e)リポトリ係事務補佐員
6/1	柳田 朱里	附属図書館テクニカルスタッフ	(採用)
6/1	松下 頼子	収)事務補佐員	(採用)
8/31	末信友実子	(退職)	収)雑誌情報係事務補佐員
8/31	川口 綾	(退職)	利)サービス企画係事務補佐員
9/1	天野 美保	利)資料サービス係事務補佐員	利)参考調査係事務補佐員
9/1	井上 佳世	利)参考調査係事務補佐員	利)資料サービス係事務補佐員
10/1	宇野真由美	収)雑誌情報係事務補佐員	(採用)
10/1	鈴木美津子	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
11/4	井上 美貴	(育児休業)	利)参考調査係事務補佐員
1/1	中村 綾香	利)参考調査係	(採用)
1/31	井上 佳世	(退職)	利)参考調査係事務補佐員
3/31	竹熊 尚夫	(退任)	附属図書館副館長
3/31	渡邊由紀子	(退職)	附属図書館事務部次長 (兼)学術サポート課長 (兼)図書館DX支援室長
3/31	才野 佳道	(職位定年)	企)課長補佐
3/31	遠藤 愛	(退職)	e)リポトリ係事務補佐員
3/31	大熊由希子	(退職)	e)事務補佐員

3/31	今村 麻琴	(退職)	e)事務補佐員
3/31	田上 明音	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
3/31	上村 舞子	(退職)	利)理系資料サービス係事務補佐員

## ■医学図書館

4/1	加藤 聖子	医学図書館長	
4/1	野原ゆかり	図書館専門員	利)図書館専門員(中央図書館)
4/1	児玉 浩憲	閲覧係長	e)専門職員
4/1	宮尾由美子	相互利用係・参考調査係長	医)閲覧係長
4/1	日高 環	閲覧係	収)図書目録係
4/1	福永 晶子	相互利用係	芸)情報サービス係
4/1	井ノ上俊哉	受入目録係(特定有期事務職員)	利)図書館専門員(理系図書館担当)
4/1	宮原茉莉子	受入目録係事務補佐員	(採用)
4/1	持山 悦子	相互利用係事務補佐員	(採用)
12/31	井上 雅子	(退職)	医)相互利用係事務補佐員
3/31	野原ゆかり	(退職)	医)図書館専門員

## ■芸術工学図書館

4/1	室井 万穂	情報サービス係	e)リポトリ係
5/15	室井 万穂	(育児休業)	芸)情報サービス係
9/1	姫野 尚行	情報サービス係(職種限定職員)	(採用)
9/30	伊原 久裕	(退任)	芸術工学図書館長
10/1	朝廣 和夫	芸術工学図書館長	
10/1	奥本佐知子	情報サービス係事務補佐員	(採用)
10/11	久保佐友里	(育児休業)	芸)情報サービス係事務補佐員
12/31	有田 順一	(退職)	芸)情報サービス係長
1/1	宮嶋 舞美	目録情報係長	芸)情報サービス係
1/1	高田 宏昭	情報サービス係長	芸)目録情報係長
1/1	古川 琢磨	情報サービス係	情報システム部情報基盤課研究支援担当
3/31	渡邊 俊彦	(退職)	芸)図書館専門員(特定有期事務職員)

## ■筑紫図書館

9/30	上原 瑞恵	(退職)	筑)図書係事務補佐員
12/1	縄田 暁子	図書係事務補佐員	(採用)
3/31	青木百合子	(退任)	筑紫図書館長
3/31	岡 さおり	(退職)	筑)図書係事務補佐員

## ■教材開発センター

10/1	上田 夏海	テクニカルスタッフ	(採用)
3/31	上田 夏海	(退職)	教材開発センターテクニカルスタッフ

## ■記録資料館

3/31	宮本 一夫	(退任)	記録資料館長
3/31	平 将志	(退職)	記録資料館助教

## ■情報システム部情報基盤課

1/1	岩下 夏帆	研究支援担当	利)参考調査係
-----	-------	--------	---------

中央図書館・理系図書館	医)医学図書館
企)図書館企画課	芸)芸術工学図書館
収)収書整理課	筑)筑紫図書館
e)eリソース課	
学)学術サポート課	
利)利用者サービス課	
DX)図書館DX支援室	

# 貴重資料の 学外展示・掲載・放映 Rare-Book-Provision to the public

## 貴重書等の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
「武谷水城宛森陽外書簡」(武谷文庫)	中央図書館	企画展「鶴外、その瞳に映った太宰府」 (R5.4.8～R5.5.28)	太宰府市文化ふれあい館
「五輪書」(吉田家文書) 「長崎行役日記」(法制資料)	記録資料館 (九州文化史・法制)	下関市・彦島町合併90年記念特別展「瀬流島—そして、島は決闘の聖地となった—」 (R5.10.6～R5.12.3)	下関市立歴史博物館
「黒田御用記」(廣瀬文庫) 「吉田家伝録」ほか(吉田家文書) 「秋月御分知之記」ほか(三奈木黒田家文書) 計8点	中央図書館 記録資料館 (九州文化史)	秋月藩成立400年記念特別展「藩祖 黒田長興」 (R5.10.21～R5.12.17)	朝倉市秋月博物館
「醫療正始」(杏仁醫館文庫) 巻数 24巻(存21巻)	医学図書館	企画展「シーボルトと近世の蘭学者たち」 (R5.10.23～R5.12.18)	西南学院大学博物館

## 貴重書等の掲載・放映(一部)、デジタルコンテンツ活用事例

### ● 出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
伏見版「三略」(支子文庫)	中央図書館	「伏見版『六韜』『三略』と『七書』について—慶長9年版『六韜』『三略』と慶長11年版『七書』の『六韜』『三略』が同版であること—」(『国立国会図書館月報』、2023年7/8月号)
「蒙古襲来絵詞(模本)」	中央図書館	「東京大学史料編纂所蔵『近藤重蔵本蒙古襲来絵詞模本』」(『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』102号、2023.10)ほか
「歐陽南野先生文集」	中央図書館	「『書庫』と『文庫』のこと」(『日本中国學會便り』44号、2023.12)
「陽明先生文録」	中央図書館	『新しい漢字漢文教育』74号(2023.11)
「天竺地獄図」(相見文庫)	中央図書館	「国芳の絵画と水滸伝」の挿絵(『雑誌 時空旅人ベストシリーズ『水滸伝』、プラネットライツ、2023.11)
「周豊一書簡集」 濱一衛 濱ふみ [宛](濱文庫) 周作人編『苔茶菴笑話選』(濱文庫)	中央図書館	「周作人・豊一父子と濱一衛・ふみ夫妻の書簡往来」(『言語文化論究』第52号、2024.3)
「東都嘉慶花宴集稿」(雅俗文庫)	中央図書館	「谷文晁筆『対嶽樓宴集当日真景図』(広島県立歴史博物館蔵)の史的位 置—雅集図・送別図の伝統に照らして」 (『日本近世美術研究』第6号、2024.3)
ケンペル「日本誌」 シーボルト「NIPPON」	中央図書館 医学図書館	「携帯茶器の歴史」(『ふじのくに茶の都ミュージアム 研究紀要・年報2022』、2023.7)
「特許安全架索道」	理系図書館	『山の観光史(仮)』(日本経済評論社、2024.春刊行予定)
麻生家文書18点	記録資料館(産業経済)	『新修 福岡市史 資料編近現代3「モダン都市」への変貌』(福岡市史編集委員会、2024.3)
「筑豊石炭と鉄道」(炭鉱図像資料)	記録資料館(産業経済)	企画展「くきのうみ ～近代産業の中心地 若松・八幡・戸畑～」複製パネル(センリンミュージアム、2023.9.16-2023.12.28)
「三池萬田坑(H-2-3-4)」(炭鉱絵葉書)	記録資料館(産業経済)	文部科学省検定教科書『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える 改訂版』(山川出版社、継続使用)
「(元和五年)五月三日付黒田藏人宛福島正則書状」(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	広島城企画展「広島城の石垣」パネル展示ほか(公益財団法人広島市文化財団、2023.12.16-2024.4.14)
仙厓義梵「三聖管酸図」(中山文庫)	文学部	『第76回美術史学会全国大会研究発表要旨集』(美術史学会、2023.5)

### ● TV放映

資料名	所蔵館	放映資料名
「今昔画図続百鬼」(雅俗文庫)	中央図書館	「浮世絵ミステリー」(NHK 2023.8.19、2023.8.26)
「竹取物語」(春日政治・和男文庫) 古活字版「源氏物語」	中央図書館	「歴史テリパリー 源氏物語はなぜ1000年も読み継がれたのか?」(NHK 2024.1.8)
「中川家島原出役之物頭よりの書状写」(長沼文庫)	記録資料館(九州文化史)	「歴史探偵 天草四郎と島原の乱」(NHK 2023.5.24)
「廻船大法之巻」(長沼文庫)	記録資料館(九州文化史)	「歴史探偵 戦の神 上杉謙信」(NHK 2023.10.4)
地所取調帳 早良郡 明治8年6月(福岡県地価帳) 総丈量反別地価帳 飯盛村 明治21年(福岡県地価帳)	記録資料館(九州文化史)	「ファミリーヒストリー 博多華丸～母からのメッセージ ふるさと愛の原点は～」(NHK 2023.12.22)

### ● デジタルコンテンツ活用事例

令和6年3月に完結した『新版 うつほ物語』(角川ソフィア文庫、全6冊)のカバー図版には、細川文庫『うつほ物語絵巻』が使用されています(装幀:澤澤泰偉氏)。『うつほ物語』は紫式部の『源氏物語』にも影響を与えた日本最古の長編物語で、本書は江戸前期に制作されたものです。大名家の旧蔵本に相応しく、古雅で美しい絵巻で、宇土細川家に興入れした姫君を平安の世界へ誘ったことでしょう。



# 図書館日誌 Diary

	全学・中央図書館	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	理系図書館
R 5 (2023) 4	7 中央図書館運営委員会（書面回議）		28 仮設図書館閉館		
5	8 巡回展「帝国日本と森林—近代東アジアにおける環境保護と資源開発—」（共催）（～6月14日） 18 森林ジャーナリスト・田中淳夫氏 ショート・トーク・セッション	22 第94回日本医学図書館協会総会（書面回議）	9 第1回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）	22 第1回筑紫図書館運営委員会（書面回議） 27 オープンキャンパス図書館開放	
6	7 中央図書館運営委員会（書面回議） 8 附属図書館職員のための展示リテラシー向上ミニ研修		29 芸術工学図書館グラウンドオープン	15 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会（書面回議）	
7	1 ソウル大学校図書館とのドキュメントデリバリーに関する協力協定を更新 12 中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議（書面回議） 14 写真展「写真で見る 中村哲医師の 現地活動—人と人、人と自然の和解を探る—」（～9月30日）	7 外国雑誌センター館会議（書面回議） 12 第1回医学図書館運営委員会（web会議）	31 第1（通算26）回サイエンスプラクタン「映像音響ラウンジ展示ギャラリートーク」	6 第2回筑紫図書館運営委員会（書面回議）	12 中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議（書面回議）
8	5 オープンキャンパス企画展「九大中央図書館のお宝たち」（～6日） 8 中村哲医師ドキュメンタリー映像上映会（29日、30日）	1 展示会「知をつむぐ—東西の古書—」（～10月31日） 7 オープンキャンパス図書館開放	5 「第11回九州大学芸術工学部大公開！～デザインの未来へようこそ～」図書館開放 6 オープンキャンパス図書館開放 8 第2回芸術工学図書館運営委員会		5 オープンキャンパス図書館開放（～6日）
9	4 青山学院大学図書館実習受入（～15日）			28 第3回筑紫図書館運営委員会（書面回議）	11 第1回理系図書館運営委員会（書面回議）
10	3 第1回附属図書館図書資料選定委員会大型図書資料専門部会（書面回議） 4 基幹教育総合科目「中村哲記念講座」開講（～11月22日）	13 医学図書館リニューアルオープン1周年記念学生サークルによるミニコンサート（演奏：馬出吹奏楽部） 27 第71回九州地区医学図書館協議会総会（web会議） 27 医学図書館リニューアルオープン1周年記念座談会	23 第2（通算27）回サイエンスプラクタン「芸術工学図書館改修デザインの舞台裏」		11 第1回理系図書館学生用図書選定委員会（書面回議）
11	1 第60回貴重文物展示「資料からみる糸島の歴史」（～30日） 4 中村哲医師ドキュメンタリー映像上映会（アカデミックフェスティバル） 21 第60回貴重文物展示関連講演会（第48回附属図書館貴重文物講習会）「資料からみる糸島の歴史」	16 第31回九州地区医学図書館員セミナー（オンライン）	2 第3（通算28）回サイエンスプラクタン「反復/差異/境界」		
12	2 特別展示「[学徒出陣] から80年目を迎えて」（～24日） 20 第49回附属図書館貴重文物講習会「雅俗文庫—特色・みどころ・これから—」（オンライン）	5 展示会「教室旧蔵コレクション展—和漢書編—」（～3月25日） 16 医学図書館見学ツアー 18 九大混声合唱団によるミニコンサート「Happy Holidays Concert」	22 第4（通算29）回サイエンスプラクタン「紙メディア時代の情報デザイン」		
R 6 (2024) 1	18 中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議（書面回議）			31 筑紫図書館長候補者選考委員会（書面回議）	18 中央図書館運営委員会・理系図書館運営委員会合同会議（書面回議）
2	27 令和5年度附属図書館研究開発室活動発表会	20 第2回医学図書館運営委員会（書面回議）	8 第3回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）	14 第4回筑紫図書館運営委員会（書面回議）	
3	22 法文学部百周年先導企画展示「九州大学法文学部の百年—混沌と創造」（～4月14日）	13 第3回医学図書館運営委員会（web会議）			



図書館 DX 支援室	記録資料館	教材開発センター	全学会議 (全学の会議・委員会のうち、 教員が参加しているもの)	関係団体会議等への出席
			24 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会 (書面回議)	21 第53回九州地区国立大学図書館協会総会 (web会議)
				22 国立大学図書館協会春季理事会 (東京大学) 31 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会 (書面回議)
19 国際シンポジウム 「大学における研究 データ管理の意義と 支援人材育成」			1 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会電子 ジャーナル等検討専門部会 7 第9回データ駆動イノベーション推進本部 会議 15 第2回電子ジャーナル等検討専門委員会電子 ジャーナル等検討専門部会 (書面回議)	5 第74回九州地区大学図書館協議会 総会 (書面回議) 22 第70回国立大学図書館協会総会 (一 橋大学)
	19 第49回記録資料館運 営委員会 (web会議)		10 第236回附属図書館商議委員会 (web会議) 20 第10回データ駆動イノベーション推進本部 会議 (書面回議) 28 第2回電子ジャーナル等検討専門委員会	
			23 第11回データ駆動イノベーション推進本部 会議 (書面回議)	
			19 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会 OA 出版モデル検討専門部会	13 九州地区国立大学図書館協会実務者 連絡会議 (佐賀大学) 26 国立大学図書館協会秋季理事会 (web 会議)
16 GakuNin RDM テー タ活用セミナー：こ れからの研究データ 管理を探る			8 第3回電子ジャーナル等検討専門委員会 17 第12回データ駆動イノベーション推進本部 会議 29 第13回データ駆動イノベーション推進本部 会議 (書面回議)	30 2023 (令和5) 年度 福岡地区研究 会 (web会議)
		22 FD 電子教材著作権 講習会 (オンライン) 22 FD 講義等ビデオ作 成者向け講習会 (オ ンライン)	12 第14回データ駆動イノベーション推進本部 会議 22 第237回附属図書館商議委員会 (web会議)	11 九州地区国立大学附属図書館館長・ 事務 (部・課) 長会議 (九州大学)
	19 第50回記録資料館運 営委員会 (web会議)	7 教材開発センター運 営委員会 (書面回議)	1 第2回データ駆動イノベーション推進本部ア ドバイザリー会議	16 国立七大学附属図書館協議会 (web 会議)
19 講演会「他大学と連 携した高度 ICT 活用 教育の推進」～九州 大学の取組み紹介～			4 第238回附属図書館商議委員会 (web会議) 27 第15回データ駆動イノベーション推進本部 会議	

令和6(2024)年6月発行

編集発行 九州大学附属図書館  
〒819-0395 福岡市西区元岡744  
TEL(092)802-2471 (図書館企画課企画係)

製作 城島印刷株式会社

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp>

